

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	1	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	男女共同参画に関する講演会や講座などの開催	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	企画政策課	施策の方向	I-1(1)人権尊重意識の啓発

PLAN (計画)	事業の概要		
	男女共同参画に関する意識啓発、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進などをテーマとした講演会や講座等を開催するとともに、庁内の関係各課との連携を図り、職員出前講座を活用するなど、市民に対する意識啓発を図る。 講演会や講座の開催にあたっては、市民のニーズに柔軟に対応し、多くの方に参加していただけるよう、開催日時やテーマに配慮するよう努める。		

H24予算額	51	H24予算額(再掲の場合)	
H24決算見込額	35	H25予算額	51

H24年度の具体的取り組み	
男女共同参画の意識づくりを図るため、各種講演会や講座等を開催する。開催日時の選定にあたっては、多くの市民に参加していただけるよう、土日や祝日の開催を検討する。	

DO (実施)	H24年度の実施結果		
	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回ハートフルフェスタ～男女共同参画懇談会 平成25年2月3日(日)13時～15時30分 参加者93名 ・プチフラワーアレンジメント 平成24年10月9日(火)14時～16時 参加者33名 		

CHECK (評価)	数値目標とその成果		
	(1) 講演会・講座の開催回数 5回以上(年1回以上) 成果:年2回		
	(2) 参加者数 500人以上(年100人以上) 成果:126人		
	(3) 広報紙などによる職員出前講座に関する情報提供 5回以上(年1回以上) 成果:年1回		

担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
A	平成23年度に一般公募し組織した「茂原市ハートフルフェスタ実行委員会」の委員を中心に市民提案の講座を企画することで、全員参加型の男女共同参画社会づくりに関する意識啓発の講座を2回開催し、指標に掲げる年1回以上を上回ることができた。また、参加者数についても100人を上回ることができた。

推進委員会による2次評価とその理由	
A	担当課の評価に同じ。

ACT (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	引き続き「茂原市ハートフルフェスタ実行委員会」との協働により男女共同参画社会づくりに関する意識啓発に努めていく。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	ハートフルフェスタ実行委員会を中心におおむね計画どおり数値目標を達成している。
改善策等の提言	
男女共同参画に関する考え方や取り組みを出前講座の各事業へ少しずつ取り込めるよう検討されたい。	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	2	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	男女共同参画に関する情報紙・意識啓発パンフレットの作成	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	企画政策課	施策の方向	I-1(1)人権尊重意識の啓発

P L A N (計画)	事業の概要		
	男女共同参画に関する意識啓発のため、わかりやすく手にとってもらえるような情報紙やパンフレットを作成し、自治会等を通じて配布する。		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
	0		
H24年度の具体的取り組み			
DV防止の意識啓発を行うためのパンフレットを作成して配布する。			

D O (実施)	H24年度の実施結果		
	各種セミナーや講座、コスモスサロン(月2回市民コーナーにて開催)にて配布		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	(4) 作成・配布枚数 195,000部(39,000世帯/年1回×5年) 成果:200枚		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B	指標として市内全世帯に対して年1回配布としたが、男女共同参画社会づくりに関するセミナーや講座、月2回開催のコスモスサロン等で配布することにより、参加者が男女共同参画社会について意識しながらパンフレットを読むため、DV防止が市民の皆さんに印象として残るよう努めた。今後は配布する場を増やすなどの手法を検討する必要がある。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
C	自治会を通じた配布が未実施であり、効果的な啓発(ホームページ掲載等)が望まれるため。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	作成したDVパンフレットの効率的な配布及び意識啓発に努めていく。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	DVIに限らず、人権尊重の意識を高める啓発が必要と思われる。

改善策等の提言

- ・作成したDVパンフレットについて、医師会に依頼して各医療機関に設置してみてもどうか。また、駅等人の集まるところにも設置を検討されたい。
- ・子どもの頃からの啓発の方法も検討されたい。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	3	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	男女共同参画に関する情報提供ホームページの充実	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	企画政策課 庶務企画係	施策の方向	I-1(1)人権尊重意識の啓発
担当者職氏名	主事 宮脇 香織	内線番号	7412

P L A N (計 画)	事業の概要		
	男女共同参画社会づくりに関する意識の定着を図るため、ホームページを通じて情報提供および意識啓発を図る。		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額 0
D O (実 施)	H24年度の実施結果		
	昨年度「ハートフルプラザもばら～茂原市インターネット男女共同参画センター」を開設し、男女共同参画に関する各種セミナーや講座などの情報提供や実施結果を随時掲載した。		
C H E C K (評 価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	イベント情報や実施結果などを随時掲載した。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	イベント情報や実施結果だけでなく、内容の充実が望まれる。	
A C T (改 善)	次年度における取り組み(予定)		
	引き続きホームページの内容の充実を図っていく。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	4	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	人権相談を含めた市民相談の充実	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	生活課	施策の方向	I-1(1)人権尊重意識の啓発
担当者職氏名	主事 坂本健一	内線番号	7251

P L A N (計画)	事業の概要	
	<p>毎日実施している市民相談に加え、人権に関わる相談について対応を図る。また、人権擁護委員による毎月2回の相談に加えて6月・12月に「特設人権相談」を設け、人権相談の充実を図る。</p>	
	H24予算額	1,108
	H24決算見込額	1,104
D O (実施)	H24年度の実施結果	
	<p>市民相談で対応が困難な相談については、速やかに弁護士相談や人権・行政相談を案内した。</p>	
C H E C K (評価)	数値目標とその成果	
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	<p>人権相談を希望する相談者には、常設している千葉地方法務局茂原支局の常設相談を案内することが出来た。</p>
A C T (改善)	推進委員会による2次評価とその理由	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)	<ul style="list-style-type: none"> ・人権相談の内容をわかりやすく周知すること。 ・的確な窓口紹介を行うこと ・事業にあった計画の見直しを行うこと。
次年度における取り組み(予定)		
<p>相談窓口の連携を図るとともに、的確な相談窓口への案内や周知を徹底していく。</p>		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	5	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	広報等による人権相談の周知徹底と意識啓発の推進	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	生活課	施策の方向	I-1(1)人権尊重意識の啓発
担当者職氏名	主事 坂本健一	内線番号	7251

P L A N (計 画)	事業の概要		
	毎月1日号の広報もばらに市民相談・無料法律相談などの相談事業、第2火曜日・第4木曜日に行われる人権・行政相談を掲載し、広く市民に周知を図る。 また、人権擁護委員の日(6月1日)および人権週間(12月4日～10日)にちなんで6月・12月に開設される「特設人権相談」について、広報もばらに相談日時と人権擁護委員の氏名を併せて掲載するとともに、街頭啓発活動(啓発物資の配布)を行い、人権尊重意識の啓発を図る。		
	H24予算額	H24予算額(再掲の場合)	1108
	H24決算見込額	1,104	H25予算額
D O (実 施)	H24年度の具体的な取り組み		
	広報への掲載やホームページ、法務局より配布されるポスターを活用して周知を図っていく。 小学校を対象とした人権教室に職員が参加しました、広報で特集して市民への人権意識の向上を図っていく。 啓発活動に参加して人権尊重意識の啓発を図る。		
	H24年度の実施結果		
C H E C K (評 価)	毎月1日号の広報へ各種相談を掲載した。 12月の特設人権相談については、相談会場を市民が多く利用する施設へ変更(市役所から総合市民センター)し相談体制を充実させまた、ホームページに掲載をすることにより窓口の周知を図った。 人権教室に担当者が出席し、その内容を広報で特集した。 啓発活動(啓発物資の配布、紙芝居の上演)に担当者が参加し、人権について周知を図った。		
	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	相談日や人権教室を広報に掲載することにより、意識の向上や相談窓口の周知が図れた。	
A C T (改 善)	推進委員会による2次評価とその理由		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	担当課の評価に同じ。	
次年度における取り組み(予定)			
引き続き、広報での相談日の周知や特設相談時の相談体制を充実させれていくとともに、人権教室等には積極的に参加していく。			

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	6	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	男女共同参画に関する市職員研修の実施	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	職員課	施策の方向	I-1(1)人権尊重意識の啓発

PLAN (計画)	事業の概要			
	階層別職員研修のテーマに取り入れて男女共同参画の意識の啓発と理解の充実を図る。また、担当職員の人材育成に努める。			
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)	0
	H24決算見込額	0	H25予算額	0
H24年度の具体的取り組み				
新規採用職員を対象に、男女共同参画をテーマとした研修を実施する。				

DO (実施)	H24年度の実施結果		
	新規採用職員研修において男女共同参画研修を実施した。 内容:H24.4.27「男女共同参画について」講師:企画財政部企画政策課職員 参加者24名		

CHECK (評価)	数値目標とその成果		
	(1)市職員対象の男女共同参画に関する研修の実施 目標:5回以上(年1回以上) 成果:1回		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A	新規採用職員に研修を実施したことで、今後の職員としての意識の確立を図ることが出来た。 他の階層についてはテーマのバランスがあるため、毎年の実施は難しい。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A	今後は他階層についても充実を望む。		

ACT (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	新規採用職員研修については、引き続き実施し、さらに充実を図る。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	新規採用者に対する研修も大事だが、中間管理職への研修も必要であるので今後実施を検討されたい。
改善策等の提言	
男性職員も育休の制度を利用できるように職場環境の整備を図られたい。	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	7(生)	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	DVIに関する相談窓口等の充実と周知徹底	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	生活課	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり

P L A N (計画)	事業の概要		
	相談職員の研修および国・県等の関係機関、庁内の関係各課との連携により、被害者の保護や相談体制の充実、情報収集に努める。また、相談窓口や支援制度について、広報もばらやパンフレットにより情報提供を行う。		
	H24予算額	H24予算額(再掲の場合)	1108
	H24決算見込額	H25予算額	1,104 1,100
D O (実施)	H24年度の実施結果		
	ポスターや啓発物を窓口や公共施設に配布して相談窓口の周知を図った。		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B	相談窓口の周知は図れたが、研修会に参加出来なかった。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
B	積極的に研修会等で情報収集・スキルアップが望まれる。		
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	今後も、相談窓口の周知を図っていく。また、研修会に参加して知識を高めていく。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	全国一斉「女性の人権ホットライン」のポスター掲示(市役所、支所、公民館、福祉センター等16か所)、カウンター啓発物(パンフレット、DV相談、ナビカード)の配布、生活課でのDV相談を市民相談員が受け関係窓口が対応している。職員の研修会参加ができなかった。
改善策等の提言	
計画の目的達成に向け、被害者の保護や相談体制の充実、情報収集のために相談職員の研修、関係機関との連携を図りたい。	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	7(子)	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	DVIに関する相談窓口等の充実と周知徹底	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	子育て支援課	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり

P L A N (計画)	事業の概要		
	相談員の資質向上のため各種の研修や会議に参加するとともに、国・県等の関係機関及び庁内の関係各課との連携により、被害者の保護と相談体制の充実に努める。また、DV防止や相談窓口と支援制度について、「広報もばら」やパンフレットにより情報提供と周知啓蒙を行う。		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
D O (実施)	H24年度の実施結果		
	研修への参加:5回 相談室における代表者会議の開催:3回		
	数値目標とその成果		
	(6) DVIに関する研修への参加 5回以上(年1回以上) 成果:年5回		
C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A	研修には、今後とも積極的に参加したい。 相談体制の充実及び問題解決のため、関係機関との連携を積極的に進める。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
	A	担当課の評価に同じ。	
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	引続き、積極的に研修への参加と関係機関との連携を図る。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	4	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	情報提供と周知啓発がされている。困難ケース検討、情報交換に努めている。相談内容・ケースに応じて適切な対応がされている。相談受け付け体制が充実されてきている。研修に積極的に参加している。
改善策等の提言	
引き続き、DV関係者の保護や相談体制の充実、積極的な研修への参加、関係機関との連携を図られたい。	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	7(企)	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	DVに関する相談窓口等の充実と周知徹底	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	企画政策課	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり

P L A N (計画)	事業の概要		
	相談職員の研修および国・県等の関係機関、庁内の関係各課との連携により、被害者の保護や相談体制の充実、情報収集に努める。また、相談窓口や支援制度について、広報もばらやパンフレットにより情報提供を行う。		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)

H24決算見込額	0	H25予算額	0
----------	---	--------	---

P L A N (計画)	H24年度の具体的な取り組み		
	市町村男女共同参画・DV担当課長会議、ちば男女共同参画行政担当者連絡会議に出席するなど、国および県のDV担当と市の相談窓口担当との連絡調整を行う。		

D O (実施)	H24年度の実施結果		
	市町村男女共同参画担当課長及びDV対策担当課長会議、ちば男女共同参画行政担当者連絡会議に出席し、意見交換等を行った。		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A	市町村男女共同参画担当課長及びDV対策担当課長会議、ちば男女共同参画行政担当者連絡会議に出席し、先進他市の取り組み状況について意見交換等に参加することができた。	

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由		
	A	<ul style="list-style-type: none"> ・担当課の評価に同じ。 ・引き続き情報収集に努めて欲しい。 	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	引き続き市町村男女共同参画担当課長及びDV対策担当課長会議、ちば男女共同参画行政担当者連絡会議に出席し、情報収集に努めていく。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	県や他市町村の取り組み状況等、積極的に情報収集している。関係各課とはDV対策担当者会議で連携を図っているようだが、単なる情報共有にすぎないようにみえる。

改善策等の提言

県や市町村での会議報告を担当課のみで終わらせることなく、関係各課に情報提供をしていくことが必要。DV担当者会議を適宜持ち、課題・改善点を話し合い、具体的な連携体制を早急に作る必要がある。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	8(子)	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	DV防止に関する意識啓発	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	子育て支援課	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり

P L A N (計画)	事業の概要		
	DVが人権侵害であるという観点から、毎年11月の「女性に対する暴力をなくす運動」にあわせ、ポスターの掲示やチラシの配布を行い、女性に対する暴力を許さない社会づくりのための意識啓発を推進する。また、配偶者間だけでなく恋人など親密な関係にある者からの暴力も問題になっていることから、講演会や講座などのテーマに取り入れたり、ホームページ上で情報提供するなど、人権尊重の立場に立って意識の啓発に努める。		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
D O (実施)	H24年度の実施結果		
	パンフレット及びDVカードの配布、また、「広報もばら」への掲載により周知に努めた。		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	(7) 広報紙などによる「女性に対する暴力をなくす運動」の周知 5回以上(年1回以上) 成果:年1回		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B	今後も情報提供を積極的に行い、意識啓発の推進に努める。	
A C T (改善)	推進委員会による2次評価とその理由		
	A	数値目標を達成した。	
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	引続き、パンフレット及びDVカードの配布、また、「広報もばら」への掲載により周知に努める。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
C	児童虐待はもちろんだが、DV被害者は母親が多く子どもを巻き込むケースが多いことを踏まえ、子育て支援の視点からの意識啓発が必要と考える。
改善策等の提言	
・企画政策課や生活課と協議し、デートDVや親のDVが子どもに与える影響や、その周囲の人々の対応の仕方を含めた講演会や講座開催を検討されたい。 ・行政職員や審議会等委員を対象としたDV対策等の講演を行う県のアドバイザー派遣事業もぜひ取り入れてもらいたい。	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	8(生)	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	DV防止に関する意識啓発	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	生活課	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり

P L A N (計画)	事業の概要		
	DVが人権侵害であるという観点から、毎年11月の「女性に対する暴力をなくす運動」にあわせ、ポスターの掲示やチラシの配布を行い、女性に対する暴力を許さない社会づくりのための意識啓発を推進する。また、配偶者間だけでなく恋人など親密な関係にある者からの暴力も問題になっていることから、講演会や講座などのテーマに取り入れたり、ホームページ上で情報提供したりするなど、人権尊重の立場に立って意識の啓発に努める。		
	H24予算額		H24予算額(再掲の場合) 1,108
	H24決算見込額	1,104	H25予算額 1,100
D O (実施)	H24年度の実施結果		
	相談窓口の案内冊子や相談カードを窓口に配布した。また、法務局より配布されたポスターを公共施設に配布した。		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B	啓発物資やポスターを活用し相談窓口の周知が図れた。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
	A	ポスターやチラシ等を活用し意識啓発に努めている。	
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	啓発物資やポスター等を活用し相談窓口の周知を図っていく。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	1	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	1	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	1	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
C	相談窓口の周知はすでに実行されている。意識啓発とは別。
改善策等の提言	
子育て支援課・企画政策課と連携し、児童虐待・配偶者に対する暴力・デートDVなど、DVや人権侵害の具体的取組みを検討する必要がある。	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	8(企)	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	DV防止に関する意識啓発	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	企画政策課	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり

P L A N (計画)	事業の概要		
	DVが人権侵害であるという観点から、毎年11月の「女性に対する暴力をなくす運動」にあわせ、ポスターの掲示やチラシの配布を行い、女性に対する暴力を許さない社会づくりのための意識啓発を推進する。また、配偶者間だけでなく恋人など親密な関係にある者からの暴力も問題になっていることから、講演会や講座などのテーマに取り入れたり、ホームページ上で情報提供したりするなど、人権尊重の立場に立って意識の啓発に努める。		

H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)	
H24決算見込額	0	H25予算額	0

H24年度の具体的取り組み		
DV防止の意識啓発のためのパンフレットを作成して配布する。また、DV防止をテーマとした講演会・講座などを実施する。		

D O (実施)	H24年度の実施結果		
	・パンフレットの配布 ・コスモスサロン(月2回開催)を開くことにより、気軽に相談できる場づくりをした。		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		

A	DV防止のパンフレットを各種セミナーや講座、コスモスサロンにて配布し、意識啓発に努めた。また、市役所市民コーナーで「茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会」委員によるコスモスサロンを月2回開催することで、気軽に相談できる場を提供した。		
---	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

推進委員会による2次評価とその理由		
A	・担当課の評価に同じ。 ・引き続き、意識啓発等に努めて欲しい。	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	作成したDV防止パンフレットの効果的な配布および意識啓発に努めていく。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	コスモスサロン等の新しい試みがされている。DV防止に関してのセミナー等については開かれていない。

改善策等の提言

子育て支援課・生活課と協力し、意識啓発の講演会等を実施されたい。そのための予算確保も必要である。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	9	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	DV対策について関係機関との連携の強化	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	子育て支援課	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり
担当者職氏名	主幹 板倉正樹	内線番号	6239

PLAN (計画)	事業の概要		
	地域配偶者暴力相談支援センター(長生健康福祉センター)、女性サポートセンター、警察、母子生活支援センター、中核地域生活支援センター、民生委員・児童委員などの関係機関との連携を強化し、シェルターへの避難など緊急的対応の充実を図る。		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
			0
H24年度の具体的取り組み			
<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携の強化に努める。 ・被害者の保護や支援に関する情報収集に努める。 			

DO (実施)	H24年度の実施結果		
	DV被害者からの相談については、関係機関と連携により迅速に対応できた。一時保護については、避難希望は有ったものの、状況確認と機関連携等により女性サポートセンターへの入所には至らなかった。		

CHECK (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	DVからの避難には、関係機関との連携が不可欠であることから一層の連携強化を図る。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	引き続き、関係機関との連携、迅速な対応に努めて欲しい。		

ACT (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	研修と共に、関係機関との連携と迅速な対応に努める。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	10	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	DV被害者に対する市営住宅入居要件の緩和	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	建築課	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり
担当者職氏名	副主査 片岡 雄一	内線番号	7854

P L A N (計画)	事業の概要	
	離婚が成立していないが、配偶者から暴力を受けている被害者および20歳未満の子から成る世帯が市営住宅の申し込みをした場合、その者がDV被害者として認められた者(婦人保護施設に入所しており、その長などが「母子及び寡婦福祉法」による母子世帯と証明した者、または裁判所から保護命令が発効されている者、配偶者暴力相談支援センター等で来所相談等を利用した者)であれば、入居要件を緩和する。	
	H24予算額	0 H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0 H25予算額
H24年度の具体的な取り組み		
配偶者の暴力により婚姻関係が事実上破綻している場合、入居資格要件である「現に同居し、または、同居しようとする親族」を緩和し、申込多数の場合の抽選においては、一般枠から特枠とし、一般より当選の確率が高くなるように配慮をする。		

D O (実施)	H24年度の実施結果
	DV被害者からの申込件数:3件(入居:1件、落選:1件、辞退:1件)

C H E C K (評価)	数値目標とその成果	
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	今年度は3件の入居申込があり、内1件が入居となった。 今後も引き続きDV被害者から入居に関する相談等があった場合は、関係部署と連携し、個々のケースを十分に考慮したうえで入居できるような体制を構築していく必要がある。
	推進委員会による2次評価とその理由	
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	入居要件の緩和について再検討が必要。	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)
	担当による一次評価に同じ。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	11	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	DV被害者への被保険者証の交付	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	国保年金課	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり
担当者職氏名	小川 典子	内線番号	7233

P L A N (計画)	事業の概要	
	DV防止法に基づき、配偶者からの暴力を受けている被害者および子については、茂原市の住民基本台帳の記録の有無を問わず、実際に茂原市に居住し必要な要件を満たした場合、国民健康保険への加入を認める。	
	H24予算額	0 H24予算額(再掲の場合) 0
	H24決算見込額	0 H25予算額 0
D O (実施)	H24年度の実施結果	
	①人事異動、担当事務の変更にあわせて、資格管理の研修を実施した。(4月～5月) ②国民健康保険等諸手続きのための窓口相談を実施した。 DV相談件数:4件、DV被害者への被保険者証交付件数:1件(住民登録がないが、DV支援策の特例として資格取得させた)	
C H E C K (評価)	数値目標とその成果	
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	茂原市に住民基本台帳の記録はあるが、他市町村に居住しているDV被害者に対して、外部機関と連携を図りながら、迅速かつ適切に諸手続きについて案内ができた。DV被害者に対しての情報共有や職場内での認識を深め、対象者データの適切な管理を引き続き行う必要がある。
	推進委員会による2次評価とその理由	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	引き続き、情報共有、研修、資格要件の整備等に努めて欲しい。
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)	
	①外部の機関では女性サポートセンターや配偶者暴力相談支援センターと、庁内の部署では子育て支援課や市民課と連携を図る重要性について、情報を共有しながら、引き続き課内研修を実施する。 ②国民健康保険加入の相談があった場合、迅速かつ適正に対応できるように、引き続き資格要件の整備を実施する。	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	12(商)	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	職場におけるセクハラ防止の促進	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	商工観光課	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり
担当者職氏名	係長 深山和利	内線番号	7633

P L A N (計画)	事業の概要		
	職場におけるセクハラ防止について茂原商工会議所、茂原工業団地連絡協議会、茂原卸商業団地協同組合等の関係機関に要請するとともに、千葉労働局雇用均等室やちば県民共生センターなどの関係機関において実施されている相談窓口について、広報もばらやパンフレットにより周知を図る。		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
	0		
H24年度の具体的取り組み			
商工会議所との連携を深めることにより、同所女性会及び加盟している会員に対する講習会の開催等の機会を利用し、セクハラ防止の更なる促進を図る。			

D O (実施)	H24年度の実施結果		
	商工会議所が主催する研修会や講習会実施時にパンフレットを配布した。		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	商工会議所との連携は密に行うことが出来たが、その他の関係機関にも要請すべきである。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	他関係機関との連携をとることが望ましい。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	セクハラ防止を積極的に周知するため、関係機関との連携を更に深める。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	12(企)	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	職場におけるセクハラ防止の促進	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	企画政策課 庶務企画係	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり
担当者職氏名	主事 宮脇 香織	内線番号	7412

PLAN (計画)	事業の概要		
	職場におけるセクハラ防止について茂原商工会議所、茂原工業団地連絡協議会、茂原卸商業団地協同組合等の関係機関に要請するとともに、千葉労働局雇用均等室やちば県民共生センターなどの関係機関において実施されている相談窓口について、広報もばらやパンフレットにより情報提供を行う。		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
	0		
H24年度の具体的取り組み			
広報もばらや茂原市ホームページにおいて、男女共同参画週間の周知などを行い、情報提供に努める。			

DO (実施)	H24年度の実施結果		
	昨年度開設した「ハートフルプラザもばら～茂原市インターネット男女共同参画センター」にて「セクハラ防止のために」というコーナーがあり、随時情報提供に努めた。		

CHECK (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)	職場を対象としたセクハラ防止を産業界に働きかけるための接点がない。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)	産業界との連携を図り、セクハラ防止に努めて欲しい。		

ACT (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	産業界との接点を持つ商工観光課との連携を図り、職場を対象としたセクハラ防止に努めていく。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	13	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	人権を守るための職員研修の実施および職員の研修参加機会の確保	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	職員課	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり

P L A N (計画)	事業の概要		
	女性の人権問題を含むあらゆる人権問題について、職員の人権意識の高揚を図る研修を実施するとともに、関係機関で実施される研修への参加を促進する。		
	H24予算額	92	H24予算額(再掲の場合) 0
	H24決算見込額	0	H25予算額 101
D O (実施)	H24年度の実施結果		
	新規採用職員を対象としたフォローアップ研修において、研修を実施した。 内容:H24.10「職場のハラスメント」講師:総務部職員課職員 参加者 24名		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	(1)市職員を対象とした人権に関する研修の実施・参加 目標:5回以上(年1回以上) 成果:1回		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B	今後、全職員が参加するように実施したいが、階層により研修内容を工夫する必要がある。	
A C T (改善)	推進委員会による2次評価とその理由		
	B	他階層への研修の実施が望まれる。	
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	今後も実情にあったテーマを選択し、他の階層にも研修を実施する予定である。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	ハラスメントについては、新規職員のみでなく特に10年以上勤続者を対象に行ったほうがよい。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・管理職研修のテーマにハラスメントを取り入れることを検討されたい。 ・関係省庁が作成しているワーク・ライフ・バランスに関するDVDなどの資料があれば、これを利用して研修を行い、報告書を出してもらってはどうか。 	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	14	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	男女共同参画の視点による表現ガイドラインの周知	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	企画政策課 庶務企画係	施策の方向	I-1(2)人権を守るための社会づくり
担当者職氏名	主事 宮脇 香織	内線番号	7412

P L A N (計画)	事業の概要		
	市の刊行物にとどまらず、すべての表現(文章・写真・イラスト等)において男女共同参画の視点によるガイドラインを遵守するよう、周知に努める。		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
			0
H24年度の具体的取り組み			
平成21年度に作成した「茂原市男女共同参画表現ガイドライン」を使用し、職員に対して研修を行う。			

D O (実施)	H24年度の実施結果		
	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員研修 H24.4.27(金) 対象:新規採用職員 24人 ・茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会第1回会議及び茂原市ハートフルフェスタ実行委員会コスモスサロン部会 H24.6.11(月) 対象:男女共同参画社会づくり推進委員会委員(16人)及び茂原市ハートフルフェスタ実行委員会委員(18人) 計34人 		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	(9) 表現ガイドラインに関する研修の実施 5回以上(年1回以上) 成果:2回		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	新規採用職員を対象とした研修で表現ガイドラインについて説明するとともに、今年度の男女共同参画社会づくり推進委員および一般公募市民による茂原市ハートフルフェスタ実行委員にも説明することができた。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	担当課の評価に同じ。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	引き続き新規採用職員を対象とした研修の実施について職員課と連携を図る。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	15	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	男女平等意識を育むための家庭教育学級の開催	主要課題	I-2 男女平等意識啓発の推進
課係名	生涯学習課	施策の方向	I-2(1)家庭における男女平等意識啓発の推進

P L A N (計画)	事業の概要		
	集団学習の場を通して家庭教育に対する家庭や地域の関心を高めるため、マタニティ時、3歳児・6歳児・幼稚園・小学校の保護者を対象に講演会・講習会・研修視察等を開催し、男女平等の意識高揚を図る。		
	H24予算額	659	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	520	H25予算額
	647		
H24年度の具体的取り組み			
明日の親から幼児期、小学校期など子供の発達段階に応じた学級を開催することにより、家庭教育のいっそうの充実を図る。 また、就学時健診時に、就学児童の保護者を対象に子育て講座を開催する。			

D O (実施)	H24年度の実施結果		
	のびのび子育て講座:4回、50人 幼児期家庭教育学級:5回、119人 就学時子育て講座:市内14校、657人 幼稚園・小学校家庭教育学級:55講座、3,351人		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	(10) 家庭教育学級の開催 475回(年95回) 成果:年78回 (11) 家庭教育学級の参加者 延べ18,500人以上(年3,700人以上) 成果:年4,177人		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B	子どもが減少している中で、親の興味関心を引くような募集案内を行う。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
A	参加者数の数値目標を達成、開催数についても概ね達成した。		

A C T (実施)	次年度における取り組み(予定)		
	講演会、講習会等を通じて、さらなる男女平等意識の高揚に努める。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	相談に的確な助言をして支援出来た。 「就学時子育て講座」「のびのび子育て講座」「幼児期(3歳児)家庭教育学級」「幼稚園・小学校家庭教育学級」をそれぞれ実施し、一定の成果を得た。
改善策等の提言	
男女平等意識は、幼児・児童期から育てることが必要。講師にも必ず内容に含むよう依頼してもらいたい。	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	16	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	家庭教育に関する相談の充実	主要課題	I-2 男女平等意識啓発の推進
課係名	生涯学習課	施策の方向	I-2(1)家庭における男女平等意識啓発の推進
担当者職氏名	副主幹 渡辺	内線番号	7932

P L A N (計画)	事業の概要		
	子どものしつけ、発達、教育などで悩みを抱える保護者に対し、家庭教育相談員が解決策等の適切なアドバイスをを行い、支援体制の充実に努める。		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
			0
H24年度の具体的取り組み			
集団不適応を起こしている子どもとの面接、その子どもの保護者等への支援を行う。			

D O (実施)	H24年度の実施結果		
	相談回数: 電話相談2回		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	相談には、的確な助言ができ支援することができた。相談は、父親・母親各々1件ずつであった。両者とも、離婚に伴う問題を抱えており解決は難しい。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	関係各課との連携を図り、なお一層の充実を図る必要がある。	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	相談室内の相談にとどまらず、家庭教育学級の講師として子育て支援を回った。次年度は、積極的に子育て支援に取り組んでいきたい。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	17(子)	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	児童・生徒等の発達段階に応じた人権尊重・男女平等に関する教育等の推進	主要課題	I-2 男女平等意識啓発の推進
課係名	子育て支援課	施策の方向	I-2(2)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進
担当者職氏名	係長 渡辺裕次郎	内線番号	6234

P L A N (計 画)	事業の概要		
	保育所・幼稚園・小中学校において、児童・生徒等の発達段階に応じ、保育や幼児教育、社会科、技術・家庭科等の教科や道徳、特別活動および総合的な学習の時間での教育活動などを通じて、男女平等の意識を高める教育等を展開する。		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
			0
H24年度の具体的取り組み			
保育所行事や実際の保育において、保育士が男女平等意識に立った保育をするよう努める。			

D O (実 施)	H24年度の実施結果		
	全ての保育所で、幼児・児童の発達段階に応じ、男女平等の意識に立った保育を実施した。		

C H E C K (評 価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	今後も、全保育所での保育活動を通して、男女平等意識に立った保育を進めていく。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	・担当課の評価に同じ。 ・どのような保育をしたのか具体例をあげて欲しい。	

A C T (改 善)	次年度における取り組み(予定)		
	継続して保育所行事や実際の保育において保育士が男女平等意識に立った保育をするよう努める。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	17(学)	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	児童・生徒等の発達段階に応じた人権尊重・男女平等に関する教育等の推進	主要課題	I-2 男女平等意識啓発の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	I-2(2)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進
担当者職氏名	主幹 鈴木 明	内線番号	7927

P L A N (計 画)	事業の概要		
	保育所・幼稚園・小中学校において、児童・生徒等の発達段階に応じ、保育や幼児教育、社会科、技術・家庭科等の教科や道徳、特別活動および総合的な学習の時間での教育活動などを通じて、男女平等の意識を高める教育等を展開する。		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
	0		
H24年度の具体的取り組み			
保育や幼児教育、生活科、社会科、技術・家庭科等の教科や道徳、特別活動および総合的な学習の時間での教育活動などを通じて、男女平等の意識を高める教育を実施する。			

D O (実 施)	H24年度の実施結果		
	保育や幼児教育、生活科、社会科、技術・家庭科等の教科や道徳、特別活動および総合的な学習の時間での教育活動などを通じて、男女平等の意識を高める教育を実施する。		

C H E C K (評 価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	男女共修による授業や混合名簿の採用など、男女共同参画に対する取り組みは行われている。さらにあらゆる場で人権に配慮した対応ができる子どもたちを育成すること、男女それぞれの良さや特性を認めあえる機会も必要である。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	引き続き、様々な資料の活用、教職員研修の充実を望む。		

A C T (改 善)	次年度における取り組み(予定)		
	人権についての様々な資料の更なる活用を図る。 教職員の研修の充実を図る。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	18(子)	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	教職員等に対する男女共同参画に関する研修の実施	主要課題	I-2 男女平等意識啓発の推進
課係名	子育て支援課	施策の方向	I-2(2)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進

PLAN (計画)	事業の概要		
	児童・生徒一人ひとりの個性を尊重し、固定的な性別役割分担意識を植え付けることのないよう、男女共同参画に関する教職員・保育士の研修を実施するとともに、関係機関で実施される研修への参加を促進する。		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
H24年度の具体的な取り組み			
男女共同参画の視点に立った研修に保育士を積極的に参加させるよう努める。			
DO (実施)	H24年度の実施結果		
	男女共同参画の視点に立った研修に保育士を積極的に参加するように各保育所長より保育士への参加を呼びかけた。		
CHECK (評価)	数値目標とその成果		
	(12) 教職員等を対象とした人権に関する研修の実施・参加 5回以上(年1回以上)		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A	保育士に対する男女共同参画の視点に立った研修会参加呼びかけにより、意識の向上が図られた。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
A	担当課の評価に同じ。		
ACT (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	引続き、男女共同参画に係る研修会への参加を呼びかけるとともに研修会への参加しやすい環境を整えるよう努める。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
C	全保協保育部会研修に参加したのみで内部研修はなし。平日実施の研修に保育士の参加が難しいことは理解できるが、これでは意識の向上は望めない。男女共同参画関係の講演等の一覧を配布し呼びかけただけでは、ほとんど不参加と思われる。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・小さいころから正しい意識を持てるよう育むことが大事。交代で年1回でも研修を受けて欲しい。そのためには、近くで受講できる市の研修体制の充実が必要とされる。まずは保育士が理解することが大事。 ・所長が研修を受講し、保育士に周知・啓発を図ることも一つの手段である。 (所長会議・主任保育士会議において企画政策課職員が男女共同参画について話をする機会を作るなど検討してもらいたい。)	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	18(学)	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	教職員等に対する男女共同参画に関する研修の実施	主要課題	I-2 男女平等意識啓発の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	I-2(2)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進

P L A N (計画)	事業の概要		
	児童・生徒一人ひとりの個性を尊重し、固定的な性別役割分担意識を植え付けることのないよう、男女共同参画に関する教職員・保育士の研修を実施するとともに、関係機関で実施される研修への参加を促進する。		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
	0		
H24年度の具体的な取り組み			
市教育研究協議会、校長研修会、教頭研修会、教務主任研修会、問題行動対策連絡協議会等を実施する。社会人権教育地区別研修会への保護者、教職員の参加を促す。			

D O (実施)	H24年度の実施結果		
	市教育研究協議会、校長研修会、教頭研修会、教務主任研修会、問題行動対策連絡協議会等を実施する。社会人権教育地区別研修会への保護者、教職員の参加を促す。		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	(12) 教職員等を対象とした人権に関する研修の実施・参加 5回以上(年1回以上) 成果:		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A	人権に関する研修等で、人権に関する意識は高まってきているが、校内組織における共同参画については、改善すべき点も見られる。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
A	・担当課の評価に同じ。 ・改善すべき点に留意し、引き続き研修等の実施に取り組んで欲しい。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	若年層研修を新設するので、その中でも人権に関する研修を取り入れる。保護者に対しても、社会人権地区別研修会への参加者が増えるように呼びかける。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	学齢期は児童・生徒にとって男女共同参画の意識を育てる一番大切な時期であり、人間としてどう生きるかの原点を学ぶ時期と考える。各種研修を通じて学校や教職員への指導が行われていることは評価できるが、各校における児童・生徒及び保護者への意識啓発を充実させていく必要がある。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・若年層研修はもちろん必要だが、若い人は男女共同参画の意識を持っている人が多いと考えられるので、むしろ40・50代の教職員が積極的に受講することが必要。 ・保護者の意識改革も必要なので、社会人権地区別研修会等への参加を引き続き呼びかける。 	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	19	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	性別にとらわれない進路指導の推進	主要課題	I-2 男女平等意識啓発の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	I-2(2)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進
担当者職氏名	主幹 宮本 昌典	内線番号	7929

P L A N (計画)	事業の概要		
	<p>ゲストティーチャーの活用や少人数指導、個別指導等によるきめ細やかな指導の推進により、男女がともに性別にとらわれることなく各人の生き方・能力・適性を考え、固定的な性別役割分担意識にとらわれずに主体的に進路を選択できるような進路指導に努める。</p>		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
			0
H24年度の具体的取り組み			
<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャー・学校支援ボランティアの活用。 ・自然体験やボランティア活動、生産体験の積極的な推進。 ・夢、仕事ぴったり体験(小学校)、職場体験(中学校)を通しての勤労観、職業観の育成。 			

D O (実施)	H24年度の実施結果		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャー・学校支援ボランティアの活用や少人数指導、個別指導等のきめ細かな指導に推進 ・自然体験やボランティア活動、生産体験の積極的な推進。 ・固定的な性別役割分担にとらわれずに主体的に進路を選択できるような進路指導の展開 		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校において、ゲストティーチャーや学校支援ボランティアを積極的に活用したり、少人数指導や個別指導等の学習形態を工夫したりしてきめ細やかな指導の推進が図れた。 ・各幼・保・小・中学校では、自然体験や生産体験を積極的に取り入れ、自らの個性や能力の伸長に努めた。小中学校では、様々な事業所に出向いての職場体験もしくは職業人からの講話を聞く等の活動を通して、勤労観や職業観の育成を図り、児童生徒が主体的に進路を選択できるような進路指導を進めた。地域的に体験を引き受ける事業所探しに課題が残る。 	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・担当課の評価に同じ。 ・引き続き、家庭、地域との連携、指導等の充実に努めて欲しい。 		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域との連携を一層深め、きめ細やかな指導及び進路指導の更なる充実を図る。 		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	20	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	個性を生かす教育の充実	主要課題	I-2 男女平等意識啓発の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	I-2(2)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進
担当者職氏名	係長 宮内 智之	内線番号	7923

P L A N (計画)	事業の概要		
	一人ひとりの個性や能力を重視し、実態に応じた学習を進めるとともに、児童生徒が主体的に学び、考え、行動する姿勢を育む教育を推進する。 また、人権教育、男女共同参画にかかわる意識の醸成を図るため、個別指導の充実を図る。		
	H24予算額	5,250	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	5,250	H25予算額
D O (実施)	H24年度の具体的な取り組み		
	各小中学校に総合学習に対する予算を配分し、稲作体験・インターネットを利用した調査・職場体験を実施し、地域住民や様々な職業に関する人と触れ合うことで主体的に学び考え、行動する姿勢を育むと同時に、人権教育・男女共同参画にかかわる意識を深める。		
C H E C K (評価)	H24年度の実施結果		
	<ul style="list-style-type: none"> ・稲作体験を小学校8校、野菜の栽培を5校で実施。 ・小中学校全校において、それぞれの課題調査にインターネットを活用し、情報教育を実施。 ・小中学校全校において、職場体験を実施した他、全中学校で進路指導を実施。 		
A C T (改善)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	固定的な性別による考え方にとらわれることなく、一人一人の個性や能力を尊重し、児童生徒が主体的に学び、考え、行動する姿勢を育む教育を推進することができた。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・担当課の評価に同じ。 ・引き続き、主体的に判断、問題を解決する資質・能力の育成に努めて欲しい。 		
次年度における取り組み(予定)			
引き続き、横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。			

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	21	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	児童生徒の悩みに対する相談体制の充実	主要課題	I-2 男女平等意識啓発の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	I-2(2)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進

P L A N (計画)	事業の概要		
	スクールカウンセラーや心の教室相談員の配置により、学校内における児童・生徒の悩みに対する相談体制について、男女共同参画の視点に配慮しながら整備充実を図る。		
	H24予算額	928	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	927	H25予算額
	927		
H24年度の具体的取り組み			
<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーの配置(全中学校)【県事業】 ・心の教室相談員の配置(小学校4校) 			

D O (実施)	H24年度の実施結果		
	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーを全中学校(7校)に配置 ・心の教室相談員を4小学校(豊田小、西小、五郷小、東部小)に配置 		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	(1) スクールカウンセラーの配置 全中学校 相談件数:12月末 1,050件(23年度 12月末 1,076件)		
	(2) 心の教室相談員の配置 4小学校 相談件数:12月末 1,435件(23年度 12月末 1,080件)		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A	昨年度まではスクールカウンセラー及び相談員の全員が女性であったが、今年度は中学校1校のスクールカウンセラーに男性を配置し改善を図った。しかし小学生やその保護者にとっては、相談員が女性であることで安心して相談できるという声もある。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A	<ul style="list-style-type: none"> ・担当課の評価に同じ。 ・さらに充実を図る為、全小学校に相談員の配置が望ましい。 		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	平成23年度同時期との比較では、スクールカウンセラーが受けた相談件数はほぼ同数であったが、心の教室相談員が受けた相談は355件増加した。小学校での相談件数が年々増加傾向にあるため、現状の4名の配置を維持するとともに、各小学校では特別教育支援員の活用も図るようにさせる。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	スクールカウンセラー及び心の教室相談員を配置し、着実に成果が上がっている。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・全小学校に心の教室相談員を配置することが望ましいが、できればスクールカウンセラーの配置を目指してほしい。スクールカウンセラーと心の教室相談員が情報・意見交換をして、問題点を討議し改善策を見出すことも必要である。 ・民生児童委員との連絡を密にして地域との連携を図ることも必要。 	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	22	基本目標	I 男女共同参画社会づくりに関する意識の定着
事業名	自治会活動などの地域活動や各種ボランティア活動における男女共同参画の促進	主要課題	I-2 男女平等意識啓発の推進
課係名	生活課	施策の方向	I-2(3)地域における男女平等意識啓発の推進
担当者職氏名	係長 渡辺正統	内線番号	7254

PLAN (計画)	事業の概要			
	地域活動に男女がともに参画することの重要性から、団体における女性役員の就任を促進するなど、自治会活動や地域でのボランティア活動における男女共同参画を促進する。			
	H24予算額	1252	H24予算額(再掲の場合)	
	H24決算見込額	1252	H25予算額	1252
	H24年度の具体的取り組み			
各種団体における女性役員が増えるよう、男女が共に自治会活動や地域でのボランティア活動に参加できるよう啓発する。				

DO (実施)	H24年度の実施結果		
	市内全245自治会のうち、昨年より2名増えた9名の女性が自治会長に就いている。また、各地区において女性も地区役員・班長等に就いているほか、自治会活動や地域ボランティア活動にも多くの女性が参加している。		

CHECK (評価)	数値目標とその成果		
			
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	自治会活動や地域ボランティア活動への女性の進出は徐々に広がっている状況にあるが、役員の割合は圧倒的に男性が多く、共同という視点では未達成な部分がある。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	・担当課の評価に同じ。 ・引き続き、女性が参加しやすい環境づくり、地域活動への参加の促進、女性役員の拡大に努めることが望ましい。		

ACT (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	女性が参加しやすい環境づくりをよびかけるなど、女性の地域活動への参加を促進し、各種団体における女性役員の拡大を図る。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	23	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	男女共同参画によるまちづくりの推進と審議会等委員への女性参画の拡大	主要課題	Ⅱ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅱ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

P L A N (計 画)	事業の概要		
	市民協働によるまちづくりを促進する上で重要な役割を担う各団体において、構成員の男女が喜びと責任を分かち合うことができるよう、意思決定過程における男女共同参画を促進するとともに、審議会等委員の選定方法における公募枠の拡大、団体や審議会等の所管課に対してのヒアリング実施などによって調査・分析し、女性参画状況について拡大を図る。		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
	0		
H24年度の具体的な取り組み			
審議会等委員の選定方法において公募枠を拡大するよう働きかけるなど、女性の参画拡大を推進する。			

D O (実 施)	H24年度の実施結果		
	審議会等を所管する所属に対して調査を実施し、登用状況調査報告書を作成するとともに、各所属に対して本計画における女性委員登用率の数値目標(30%)および前年度実績(18.5%)を伝達し、積極的な登用を求めた。		

C H E C K (評 価)	数値目標とその成果		
	(15) 審議会等における女性委員の登用率 30%以上 H24年度(4月1日時点)18.5%		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B	女性委員の登用率は、前年度と比較して横ばいであるが、数値目標として掲げている30%以上から遠ざかる結果となった。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
B	背景にある団体の男女比を確認する必要あり		

A C T I O N (実 行)	次年度における取り組み(予定)		
	女性委員の登用率向上のための手法について、先進市の事例を研究していく。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	女性委員の登用について各審議会が数値目標を達成しなかった原因分析がされていない。 各審議会の担当課において女性委員を積極的に採用しようとする努力が感じられない。 公募委員枠が増えてきたことについては評価できる。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・女性委員が採用されやすい環境を整備してもらいたい。 ・あて職で施設等の長が指定されているものについて、長以外のもの(副施設長など)から採用するようよびかけてもらいたい。 ・女性委員の少ない審議会について(別紙一覧)重点的に女性委員を採用するようよびかけてもらいたい。 	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	24	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	広聴活動における女性の意見聴取機会の確保	主要課題	Ⅱ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	秘書広報課	施策の方向	Ⅱ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進
担当者職氏名	山田隆二	内線番号	7319

PLAN (計画)	事業の概要			
	<p>「市長と話し合う会」への女性の出席者を増やす方策を講じるなど、広聴活動における女性の意見聴取機会の確保を図る。</p>			
	H24予算額	164	H24予算額(再掲の場合)	
	H24決算見込額	103	H25予算額	121
	H24年度の具体的取り組み			
<p>市長と話し合う会の開催 年2回、市民ふれあいミーティング年2回</p>				

DO (実施)	H24年度の実施結果	
	<p>市長と話し合う会 11月4日市民室1回開催、55人参加、11月12日本納公民館1回開催、33人参加 市民ふれあいミーティング 8月29日8人参加、1月30日開催4人参加 市長への手紙 随時募集(H24年度 125件)</p>	

CHECK (評価)	数値目標とその成果	
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	<p>B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)</p>	<p>「市長と話し合う会」、「市民ふれあいミーティング」、「市長への手紙」など広聴事業については、男女を問わず広く市民から意見が出されている。「市長と話し合う会」においては、女性の発言機会を確保できるように指名の際配慮している。また、「市民ふれあいミーティング」については、女性の参加が男性を上回っている。したがって、広聴活動における女性の意見聴取会は確保されている。なお、問題点として、「ふれあいミーティング」等への参加に際し、複数での参加を望む傾向がある。</p>
推進委員会による2次評価とその理由		
<p>B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)</p>	<p>女性参加は達成できていると思われる。 ネーミング(まだ堅苦しいイメージがある)や時間や曜日を変えてみてはどうか。</p>	

ACT (改善)	次年度における取り組み(予定)	
	<p>市長と話し合う会、市民ふれあいミーティングは広報等をとおして市民に会議開催のお知らせをしている。また、「市長と話し合う会」については、多くの参加を求めるために、会議録をホームページに掲載するなど市民の興味喚起を促した。今後、「市長と話し合う会」、「市民ふれあいミーティング」については、より多くの方に参加して頂くため一層の周知に努める。</p>	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	25	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	市女性職員の登用の推進	主要課題	Ⅱ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	職員課	施策の方向	Ⅱ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

P L A N (計画)	事業の概要			
	男女を問わず採用・登用し、性別にとらわれない人事配置を行う。また、女性職員がその能力特性を十分に発揮し、政策・方針決定過程への参画を通して管理職へ積極的に登用されるよう、人材育成の方策について検討する。			
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)	0
	H24決算見込額	0	H25予算額	0
H24年度の具体的な取り組み				
適材適所の人員配置をし、積極的な女性の登用を図る。				

D O (実施)	H24年度の実施結果		
	平成24年度 管理職への登用状況(H24.4.1現在) 管理職における女性割合 15.1%(21人/139人) 内訳 9級(部長職) 0人/9人 ・ 8級(次長職) 1人/13人 ・ 7級(課長職) 2人/65人 ・ 6級(補佐職) 18人/51人		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	(1)管理職における女性の割合 目標:30%以上 成果:15.1%		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B	登用率は昨年度より増。(23年度 14.5%) 女性の登用に当たっては、本人の意欲や責任感の醸成が必要であるとともに、長期的視点に立って対応を図る必要がある。	
推進委員会による2次評価とその理由			
B	引き続き女性の管理職登用にあって対応に努められたい。		

A C T (実行)	次年度における取り組み(予定)		
	今後も積極的に女性の登用を図る。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	女性職員を管理職に登用するための十分な対策がとられていない。対策や方法についてよく考えてもらいたい。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・男女にかかわらず職員の意識を高めるために環境の整備が必要であると思われる。 ・目標数値と実現可能な数値がかけ離れているので、単年度ごとに、また、地域性にあった目標値を設定されたい。 	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	26	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	市女性職員の能力開発のための研修への参加機会の確保・拡大	主要課題	Ⅱ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	職員課	施策の方向	Ⅱ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

P L A N (計画)	事業の概要			
	女性職員の人材育成の観点から、関係機関での研修を活用するなど、能力開発のための研修等への参加機会の確保・拡大を図る。			
	H24予算額	58	H24予算額(再掲の場合)	0
	H24決算見込額	75	H25予算額	74
	H24年度の具体的取り組み			

千葉県自治研修センター及び市町村アカデミーの実施する女性職員のための研修に、積極的に職員を派遣する。

D O (実施)	H24年度の実施結果		
	平成24年度 5名の女性職員を派遣した。 ①千葉県自治研修センター「女性職員スキルアップ研修」(2日間) 3名 ②市町村アカデミー 「ブラッシュアップ女性リーダー」(9日間) 2名		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	(1)市女性職員の能力開発のための研修への参加人数 目標:延べ20人以上 成果:5人		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A	係長相当職及び副主査の職員を派遣したので、女性リーダーの育成に有効であったと考える。 現在、派遣職員の決定は職員課の推薦に元づき行っているが、意欲のある職員の自発的な参加が可能となる方策を検討する必要がある。	
	推進委員会による2次評価とその理由		

A
研修の成果を研修を受けた者だけで完結させるのではなく、次の人につなげられるような機会を設けてはどうか。

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	今年度と同様の研修に積極的に派遣するとともに、職員が自発的に参加ができる研修の機会も確保するよう検討する。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	研修への参加者をもっと増やしてもらいたい。
改善策等の提言	
公的機関の研修を活用して、より多くの女性が参加できるように職場環境を整える等検討されたい。	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	27	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	企業・団体における女性の参画拡大についての周知・啓発	主要課題	Ⅱ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	企画政策課 庶務企画係	施策の方向	Ⅱ-1(2)企業や団体における方針決定過程への男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 宮脇 香織	内線番号	7412

P L A N (計画)	事業の概要		
	<p>広報もばら、茂原市ホームページなどさまざまなメディアを活用して企業・団体における女性の参画拡大について周知・啓発を図るとともに、毎年6月の「男女共同参画週間」において広報活動を行う。</p>		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
			0
H24年度の具体的取り組み			
<p>広報もばらや茂原市ホームページにおいて、男女共同参画週間の周知などを行い、情報提供に努める。</p>			

D O (実施)	H24年度の実施結果		
	<p>茂原市ホームページにおいて、男女共同参画週間の周知を行った。</p>		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	茂原市ホームページで男女共同参画週間を周知するとともに、広報や自治会回覧等で各種イベントの案内や、茂原市ハートフルフェスタ実行委員会委員の募集を行った。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	引き続き行ってもらいたい。イベント等があればそこで男女共同参画週間について紹介してもらってはどうか。		

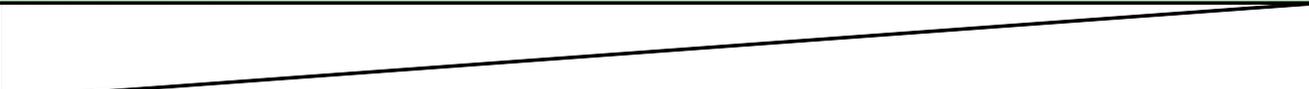
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	引き続きホームページの内容の充実を図っていく。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	28(商)	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	男女雇用機会均等に係る法制度の周知とポジティブ・アクション(積極的改善措置)の促進	主要課題	Ⅱ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅱ-1(2)企業や団体における方針決定過程への男女共同参画の促進
担当者職氏名	係長 深山和利	内線番号	7633

P L A N (計 画)	事業の概要		
	毎年6月の「男女雇用機会均等月間」に合わせ、茂原商工会議所等の関係機関を通して法制度の周知を図るとともに、茂原商工会議所・茂原工業団地連絡協議会・茂原卸商業団地協同組合等と連携を図ることにより、企業が進める男女雇用機会均等に関するポジティブ・アクション(積極的改善措置)について、さまざまな方法で啓発を行う。		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
			0
H24年度の具体的取り組み			
商工会議所とも連携をはかり、関係機関に対して同法を周知するとともに、6月の強化期間においては、積極的改善の促進を図る。			

D O (実 施)	H24年度の実施結果		
	商工会議所が主催する研修会等でパンフレットを配布し、同法の周知を図った。		

C H E C K (評 価)	数値目標とその成果		
			
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	商工会議所以外の機関にも積極的な働きかけをする必要がある。	
推進委員会による2次評価とその理由			
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	他課の持つ宣伝媒体を利用してはどうか。(例えば駅前駐車場のテロップや市民課交付所のTV)		

A C T (改 善)	次年度における取り組み(予定)		
	法制度の周知及びポジティブの促進のため、関係機関との連携を更に深める。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	28(企)	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	男女雇用機会均等に係る法制度の周知とポジティブ・アクション(積極的改善措置)の促進	主要課題	Ⅱ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	企画政策課 庶務企画係	施策の方向	Ⅱ-1(2)企業や団体における方針決定過程への男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 宮脇 香織	内線番号	7412

P L A N (計 画)	事業の概要		
	毎年6月の「男女雇用機会均等月間」に合わせ、茂原商工会議所等の関係機関を通して法制度の周知を図るとともに、茂原商工会議所・茂原工業団地連絡協議会・茂原卸商業団地協同組合等と連携を図ることにより、企業が進める男女雇用機会均等に関するポジティブ・アクション(積極的改善措置)について、さまざまな方法で啓発を図る。		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
			0
H24年度の具体的取り組み			
広報もばらや茂原市ホームページにおいて、男女雇用機会均等法の制度に関する周知などを行い、情報提供に努める。			

D O (実 施)	H24年度の実施結果		
	昨年度開設した「ハートフルプラザもばら～茂原市インターネット男女共同参画センター」に「労働と男女共同参画」というコーナーを設け、「男女雇用機会均等法」「ポジティブ・アクションとは」の2分野について情報提供している。		

C H E C K (評 価)	数値目標とその成果		
			
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)	職場を対象とした雇用機会均等を産業界に働きかけるための接点がない。	
推進委員会による2次評価とその理由			
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)	他課の持つ宣伝媒体を利用してはどうか。(例えば駅前駐車場のテロップや市民課交付所のTV)		

A C T (改 善)	次年度における取り組み(予定)		
	産業界との接点を持つ商工観光課との連携を図り、職場を対象とした雇用機会均等の法制度周知に努めていく。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	29(健)	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	父親の子育てに関する学習機会の提供	主要課題	Ⅱ-2 家庭・地域社会における男女共同参画
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅱ-2(1)家庭生活における男女共同参画の促進

P L A N (計画)	事業の概要		
	マタニティ教室の土曜開講、父親の子育て意識を高める内容の取り入れなど、父親の積極的な子育てへの参加を促進するための学習機会を提供し、女性の妊娠・出産・育児など母性機能の社会的重要性の認識を深め、子育てを共にする意識啓発を図る。 また、のびのび子育て講座や家庭教育学級などの事業に父親が参加しやすいよう、講座・講習会・研修視察等を土日にも開催し、男女共同参画の意識高揚を図る。		
	H23予算額	68	H23予算額(再掲の場合)
	H23決算見込額	66	H24予算額
D O (実施)	H23年度の実施結果		
	<マタニティ教室>1コース3回にて5コース実施15回 <のびのび子育て講座>4回実施		
	数値目標とその成果		
C H E C K (評価)	(18) マタニティ教室の開催回数 95回(年19回) 成果:19回 (19) マタニティ教室の男性参加者 延べ380人以上(年76人以上) 成果:149人		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A	内容を工夫したところ男性参加数が増えてきているが、さらに初妊婦の参加率を増やし、共にパートナーの出席率を向上させたい。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
	A	担当課の評価に同じ。	
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
<マタニティ教室>期日:1コース3回にて5コース、平日2コース、土曜日3コース予定 夫に対して妊娠の理解、又育児参加の動機付けになるよう内容を充実していく予定。 <のびのび子育て講座>期日:平日1回、土曜3回			

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	4	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	マタニティ教室、のびのび子育て講座を実施し、父親の子育てに関する学習機会の提供は、着実に進められている。
改善策等の提言	
初妊婦や父親の参加がより増えるよう、更なる内容の充実を図られたい。	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	29(生)	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	父親の子育てに関する学習機会の提供	主要課題	Ⅱ-2 家庭・地域社会における男女共同参画
課係名	生涯学習課	施策の方向	Ⅱ-2(1)家庭生活における男女共同参画の促進

P L A N (計画)	事業の概要		
	マタニティ教室の土曜開講、父親の子育て意識を高める内容の取り入れなど、父親の積極的な子育てへの参加を促進するための学習機会を提供し、女性の妊娠・出産・育児など母性機能の社会的重要性の認識を深め、子育てを共にする意識啓発を図る。 また、のびのび子育て講座や家庭教育学級などの事業に父親が参加しやすいよう、講座・講習会・研修視察等を土日にも開催し、男女共同参画の意識高揚を図る。		
	H24予算額	659	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	520	H25予算額
H24年度の具体的取り組み			
父親の子育てに関する学習機会の提供を図るために、講座・講習会・研修等を出来るだけ土日に開催する。			

D O (実施)	H24年度の実施結果		
	のびのび子育て講座:4回、50人の内14人参加 幼児期家庭教育学級:5回、119人の内5人参加 就学时子育て講座:市内14校、657人の内43人参加 幼稚園・小学校家庭教育学級:55講座、3,351人		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	(20) 家庭教育学級の父親参加者 延べ1,350人以上(年270人以上) 成果:62人		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B	昨年度より父親の参加者数も増加しており、父親の子育てに対する意識が高まってきている。 のびのび子育て講座については、誰でも参加しやすいように土曜日に開催を行っている。	
推進委員会による2次評価とその理由			
B	担当課の評価に同じ。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	のびのび子育て講座については出産を控えた親を対象としていたが、次年度はあらゆる世代の父親も対象とし、事業のさらなる充実を図る。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	目標値に達しなかったが、着実に父親の参加は増加している。
改善策等の提言	
家庭・地域社会において、性別役割分担にとらわれず社会全体で子育てに取り組むことは、今後の社会において必要とされることである。また、一人親の家庭が増える中、仕事で参加できない親も増えていられるので、子育てを手助けしてくれている人に参加を促す事も必要と考える。「のびのび子育て講座」の対象を市民全体とすることは、とても良いと思う。	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	30(健)	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	男性の家庭参画を促す講座等の実施	主要課題	Ⅱ-2 家庭・地域社会における男女共同参画
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅱ-2(1)家庭生活における男女共同参画の促進

P L A N (計画)	事業の概要			
	自らの健康に気を配ることができるよう、男性を対象とした「クッキングパパ教室」などの開催や男性の育児参加を促すためのマタニティ教室の内容の工夫、土曜日コースの設定など、体験的・実践的な学習活動を通して男性の家庭参画を促進する。			
	H24予算額	8	H24予算額(再掲の場合)	
	H24決算見込額	8	H25予算額	5
	H24年度の具体的取り組み			
[クッキングパパ教室]開催日:平成24年6月23日(土) 会場:保健センター 参加者予定数:30人				

D O (実施)	H24年度の実施結果
	参加者が少ない教室の開催となったが、参加者にとっては、調理方法など聞きやすく、推進員も詳しく教えることができたと思われる。

C H E C K (評価)	数値目標とその成果	
	(21)男性を対象とする料理教室の開催回数5回以上(年1回以上) 成果;1回 (22)男性を対象とする料理教室の参加者数125人以上(年25人以上) 成果;15人	
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	B	リピーターが多いのはよいが、参加者が少ない。特に新しく申し込む人が少ない。
	推進委員会による2次評価とその理由	
B	対象が男性なので家族参加型のものがあったらよいのではないか。	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)
	参加者数がさらに、目標に近づくよう、周知方法や内容を検討する。

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	新規参加者を増やす工夫をされたい。
改善策等の提言	
家族参加型(パパと子どもの)料理教室というのを企画してはどうか。	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	30(東)	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	男性の家庭参画を促す講座等の実施	主要課題	Ⅱ-2 家庭・地域社会における男女共同参画
課係名	東部台文化会館	施策の方向	Ⅱ-2(1)家庭生活における男女共同参画の促進

P L A N (計 画)	事業の概要		
	自らの健康に気を配ることができるよう、男性を対象とした「クッキングパパ教室」などの開催や男性の育児参加を促すためのマタニティ教室の内容の工夫、土曜日コースの設定など、体験的・実践的な学習活動を通して男性の家庭参画を促進する。		
	H24予算額	57	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	57	H25予算額

H24年度の具体的取り組み			
「男の料理教室」、開催日:毎月第3金曜日に1回ずつ年5回実施。 「オープン料理教室～男性のためのピザ教室」、開催日:平成25年1月19日(土)1回実施。 家庭料理の実習を通し生活習慣病予防の知識を習得し食生活改善、健康増進を図るとともに、楽しく家事へ参加できるように促す。			

D O (実 施)	H24年度の実施結果		
	①男の料理教室 開催日:5/19、6/15、7/20、9/21、10/19(金) 13:30～16:30(全5回) 講師:嘉須利ひろみ 会場:東部台文化会館調理室 ②オープン料理教室～男のためのピザ教室、女性と共に～ 開催日:1/19(土)9:30～13:00 講師:関野和子 会場:東部台文化会館調理室		

C H E C K (評 価)	数値目標とその成果		
	(21) 男性を対象とする料理教室の開催回数 5回以上(年1回以上) 成果:年計6回 (22) 男性を対象とする料理教室の参加者数 125人以上(年25人以上) 成果:111名/年		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		

A	毎年実施している「男の料理教室」は、参加率もよく次年度に期待する声も多く出ていた。「オープン料理教室～男のためのピザ教室」は、開催時期の問題もあり、男女が協力しあう料理教室とした。概ね評判がよく男女共に楽しんで行っていた。		
	推進委員会による2次評価とその理由		

A	対象が男性なので家族参加型のものがあってもよいのではないか。		
---	--------------------------------	--	--

A O T (事 業)	次年度における取り組み(予定)		
	男の料理教室を継続して行う。(年5回)		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由	
A	料理教室の開催回数・参加者数ともに目標数値を十分達成している。	
改善策等の提言		
今後の開催にあたっては、健康に考慮した多様なメニューを提案してもらいたい。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	31	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	地域活動や各種ボランティア活動等への男女共同参画促進のための啓発	主要課題	Ⅱ-2 家庭・地域社会における男女共同参画
課係名	生活課	施策の方向	Ⅱ-2(2)地域活動における男女共同参画の促進
担当者職氏名	係長 渡辺正統	内線番号	7254

P L A N (計 画)	事業の概要		
	住みよいまちづくりが展開できるよう、市民活動の情報を取りまとめた「市民活動ガイド」を配布するなど、情報提供と活動の支援を行うとともに、茂原市ボランティアセンター(茂原市社会福祉協議会内)と連携し、男女がともに地域活動に参画することの意義について理解を深めるよう、意識啓発を図る。		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
	0		
H24年度の具体的取り組み			
男女が共に地域活動に参加するよう啓発を図り、茂原市ボランティアセンターとの連携を深める。			

D O (実 施)	H24年度の実施結果		
	茂原市ボランティアセンターと連携し、平成24年度版の「もばら市民活動ガイド」を作成した。市民活動の情報提供や情報交換を行い、男女がともに市民活動を通して地域づくりに参加できるよう啓発に努めた。		

C H E C K (評 価)	数値目標とその成果		
			
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	市民活動は男女を問わず幅広い年齢層で展開されるのが望ましいが、自由な時間が多い高齢者、女性にやや偏りがあるように思われる。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	「市民活動ガイド」の配布方法を検討する必要がある		

A C T (改 善)	次年度における取り組み(予定)		
	引き続き市民活動への理解を深め、男女を問わずより多くの市民が参加できるよう啓発に努める。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	32	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	国際理解と交流の推進	主要課題	Ⅱ-2 家庭・地域社会における男女共同参画
課係名	企画政策課 庶務企画係	施策の方向	Ⅱ-2(2)地域活動における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 宮脇 香織	内線番号	7412

P L A N (計画)	事業の概要		
	男女を問わず国際社会に柔軟に対応できる人材を育成するため、姉妹都市であるソルズベリー市等との国際交流を通じて、異文化理解と友好親善を深める機会の充実に努める。 また、増加する外国人市民と、お互いの価値観や文化を尊重しながら共生し、安心して暮らしていくことができるまちづくりを目指し、市民、各種ボランティアを中心とする民間団体主導の国際交流を推進するための環境整備に努め、地域活動を支援する。		
	H24予算額	9,034	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	8,577	H25予算額
D O (実施)	H24年度の具体的な取り組み		
	<ul style="list-style-type: none"> ・5月 茂原市国際交流協会設立 ・7月 少年野球チーム「レッズ」受入れ ・8月 中学生海外派遣 ・10月モーンソンレイクススクール受入れ・市長訪問団派遣 ・3月 南総少年野球連盟派遣 		
	H24年度の実施結果		
C H E C K (評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年5月に茂原市国際交流協会を設立し、設立記念イベントとして「国際交流ミーティング」を開催し、約100人が参加した。茂原に在住する外国人として2人の女性が登壇し、日本での暮らしや苦労話、太極拳やフィリピンフォークダンスなどの多文化間の交流を行った。また、7月の七夕まつり、11月の産業まつりに出店し、国際交流活動をアピールした。 ・姉妹都市交流としては、8月に姉妹都市ソルズベリー市へ中学生を27名派遣し、10月に市長訪問団として19名を派遣した。 		
	数値目標とその成果		
	(23) 交流人数 6,500人以上 成果:約300人		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
A C T (改善)	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	茂原市国際交流協会が設立されたことにより、民間団体主導の交流を市が全面的にバックアップ出来るようになった。会長は女性であり、女性役員が約4割を占めている。また、姉妹都市交流として市内中学生男女27人を派遣し、うち女子生徒は約7割を占めており、女性の意見を反映させるという面においては、ある程度の成果を上げている。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	担当課の評価に同じ。	
次年度における取り組み(予定)			
姉妹都市ティンデルクリスチャンスクール等の受入れを予定しており、引き続き女性ボランティアを積極的に活用し、女性の意見を取り入れることで、きめ細かな対応ができるよう努める。			

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	33	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	学校における国際理解教育の推進	主要課題	Ⅱ-2 家庭・地域社会における男女共同参画
課係名	学校教育課	施策の方向	Ⅱ-2(2)地域活動における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主幹 鈴木 明	内線番号	7928

P L A N (計画)	事業の概要		
	男女を問わず国の文化や習慣の違いを互いに理解することができるよう、姉妹都市であるソルズベリー市との交流活動の推進を図る。 また、学校における国際理解教育を通じ、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーション能力の向上を図る。		
	H24予算額	28,155	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	28,105	H25予算額
	28,155		
H24年度の具体的取り組み			
<ul style="list-style-type: none"> ・ソルズベリー市を中心とするオーストラリアへの中学生等の派遣。 ・小中学校への英語指導講師(ELT)の派遣。 			

D O (実施)	H24年度の実施結果		
	<ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアへの中学生等の派遣については、中学生27名、教員3名を派遣した。 ・英語指導講師(ELT)については、小学校に3名、中学校に4名を業務委託で派遣し、児童生徒の英語の学習に活用することができた。 		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	(24) 姉妹都市訪問団の派遣人数 目標:155人(年31人) 成果:		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	中学生等の海外派遣、小中学校への英語指導講師の派遣とも定着し、その成果が表れている。男女共同参画の視点からの課題としては、海外派遣の希望者が、例年、女子の方が多く男子の希望者がやや少ないことである。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	募集対象を拡大することも検討してみてはどうか。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ソルズベリー市を中心とするオーストラリアへの中学生等の派遣については、継続実施。中学生の募集を2年生まで拡大し、海外の言語や文化に触れる機会をふやす。 ・小中学校への英語指導講師(ELT)の派遣については、本年度から3年間業務委託し、引き続き児童生徒がネイティブの英語に触れられるようにする。 		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	34	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	環境保全における男女共同参画の促進	主要課題	Ⅱ-2 家庭・地域社会における男女共同参画
課係名	環境保全課	施策の方向	Ⅱ-2(2)地域活動における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 丸 典弘	内線番号	7663

PLAN (計画)	事業の概要			
	花や自然を大切に思う心を育む「花いっぱい運動」や、地域ぐるみで環境美化に取り組む「ゴミゼロ運動」など、環境保全のための地域活動に男女がともに参画する環境づくりを目指す。			
	H24予算額	2,573	H24予算額(再掲の場合)	
	H24決算見込額	2,572	H25予算額	2,536
H24年度の具体的取り組み				
花いっぱい運動やゴミゼロ運動などを通して、自治会・ボランティア団体などの自主的な美化活動の奨励を行い、地域の環境美化活動を推進する。				

DO (実施)	H24年度の実施結果		
	花いっぱいコンクール参加者 41組 ゴミゼロ運動参加者 11,550人 花いっぱい運動推進協議会 役員5名(内女性3名)、会員38名(総数44名の内女性13名) 総会:年1回、視察研修:年1回(参加27人内女性12人)、その他役員会等を開催		

CHECK (評価)	数値目標とその成果		
	(25) 花いっぱいコンクールの参加者数 目標:延べ200組(40組×5年) 成果:41組		
	(26) ゴミゼロ運動の参加者数 目標:延べ7万5,000人(1万5,000人×5年) 成果:11,550人参加、20,500kg回収		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	・花いっぱいコンクールにおいては、男女比偏りなく参加いただいている。 ・5月27日のゴミゼロ運動統一美化キャンペーンについては、各自治会、ボランティア団体において実施され、ゴミゼロ運動以外でも自主的な地域清掃が行われている。		
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	担当課の評価に同じ。		

ACT (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	・第62回花いっぱいコンクールの開催(さらに多くの人に参加していただけるよう募集の方法について検討する) ・ゴミゼロ運動実施(5月26日予定)		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	35	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	3Rの推進	主要課題	Ⅱ-2 家庭・地域社会における男女共同参画
課係名	環境保全課	施策の方向	Ⅱ-2(2)地域活動における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 丸 典弘	内線番号	7663

P L A N (計画)	事業の概要			
	市民の環境に対する意識の高揚を図るとともに、ごみの減量(リデュース)、再利用(リユース)、再資源化(リサイクル)の3Rについて、広報もばらや茂原市ホームページなどのさまざまなメディアを活用して意識啓発を図る。			
	H24予算額	9,057	H24予算額(再掲の場合)	
	H24決算見込額	7,072	H25予算額	8,184
	H24年度の具体的取り組み			
日常生活から環境美化を心がけるよう、広報・パンフレット等により啓発活動を行うことにより、3Rを推進する。また、生ゴミの減量化のため、コンポスター及びEM容器の助成販売とあわせ、電動・手動生ごみ処理機購入補助金について助成をする。				

D O (実施)	H24年度の実施結果		
	<ul style="list-style-type: none"> ・広報・パンフレットにて、10月の「3R推進月間」期間中において啓発。 ・コンポスター37基・EM容器39組 助成販売、電動生ごみ処理機6基 購入補助 (H25. 2月末現在) ・リサイクル推進委員会 役員7名(内女性0名)、自治会選出理事10名(内女性0名)、地区代表理事16名(内女性0名)、総数33名(内女性0名) 総会年1回、その他理事会、運営委員会などを開催		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	3Rの推進及び生ごみ減量化においては、男女・年齢問わず関心を寄せていただいている。さらに幅広く啓発を行う。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	担当課の評価に同じ。		

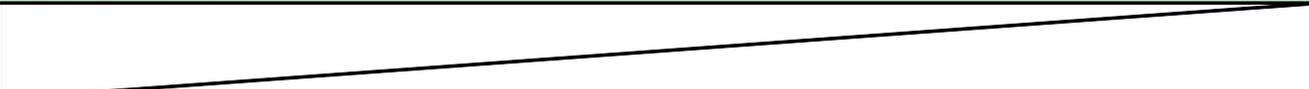
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	広報・パンフレットによる3R推進の啓発 コンポスター・EM容器助成販売、電動・手動生ごみ処理機購入補助		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	36(商)	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	企業などが進める男女労働者の格差解消を目指すポジティブ・アクション(積極的改善措置)の促進と再チャレンジの支援	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅱ-3(1)就労の平等な機会と公平な待遇の確保
担当者職氏名	補佐 麻生新太郎	内線番号	7633

P L A N (計 画)	事業の概要		
	毎年6月の「男女雇用機会均等月間」に合わせ、企業が進める男女労働者の格差解消を目指すポジティブ・アクション(積極的改善措置)について、さまざまな方法で啓発を図るとともに、関係機関と連携して再就職に関するセミナーや相談の周知に努める。		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
	0		
H24年度の具体的取り組み			
就職に関するセミナーをハローワーク等関係機関と連携して開催する。			

D O (実 施)	H24年度の実施結果		
	千葉県ジョブサポートセンター主催の「子育てお母さん再就職セミナー」の啓発を実施した。		

C H E C K (評 価)	数値目標とその成果		
			
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	実施されたセミナーについての結果については、把握していない。	
推進委員会による2次評価とその理由			
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	より周知させる必要がある。		

A C T (改 善)	次年度における取り組み(予定)		
	就職に関するセミナーをハローワーク等関係機関と連携して開催する。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	36(企)	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	企業などが進める男女労働者の格差解消を目指すポジティブ・アクション(積極的改善措置)の促進と再チャレンジの支援	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	企画政策課 庶務企画係	施策の方向	Ⅱ-3(1)就労の平等な機会と公平な待遇の確保
担当者職氏名	主事 宮脇 香織	内線番号	7412

PLAN (計画)	事業の概要		
	<p>毎年6月の「男女雇用機会均等月間」に合わせ、企業が進める男女労働者の格差解消を目指すポジティブ・アクション(積極的改善措置)について、さまざまな方法で啓発を図るとともに、関係機関と連携して再就職に関するセミナーや相談の周知に努める。</p>		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
	0		
H24年度の具体的取り組み			
<p>広報もばらや茂原市ホームページにおいて、男女共同参画週間の周知などを行い、情報提供に努める。</p>			

DO (実施)	H24年度の実施結果		
	<p>昨年度「ハートフルプラザもばら～茂原市インターネット男女共同参画センター」を開設し、「労働と男女共同参画」というコーナーを設置した。 また、2月3日に開催した「第3回ハートフルフェスタ～茂原市男女共同参画懇談会～」では企業からのパネラーも招き、女性にとって働きやすい環境づくりについての紹介があった。</p>		

CHECK (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)	職場を対象としたポジティブ・アクションを産業界に働きかけるための接点がない。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)	より周知させる必要がある。		

ACT (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	産業界との接点を持つ商工観光課との連携を図り、職場を対象としたポジティブ・アクションの周知に努めていく。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	37	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	勤労女性の母性保護についての啓発	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅱ-3(1)就労の平等な機会と公平な待遇の確保

事業の概要			
妊娠届出時面接により、妊婦やその配偶者・パートナー等と面接し、勤労妊婦の母体保護と家庭内での夫の協力、産後の育児参加等について指導を行う。また、職場内において、妊娠・出産を理由とする不利益の取り扱いが生じないよう、各種制度の活用方法について指導を行う。また、事業主が母性健康管理の措置を適切に講ずることができるように「母性健康管理指導事項連絡カード」(母子手帳に書式あり)の使用方法について、窓口・電話相談、マタニティ教室、家庭訪問等妊婦面接のあらゆる機会に周知する。			

H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)	0
H24決算見込額	0	H25予算額	0

H24年度の具体的取り組み			
妊娠届出時面接、マタニティ教室、窓口・電話相談、家庭訪問等で周知、啓発活動を実施。			

D (実施)	H24年度の実施結果		
	あらゆる機会に啓蒙普及した。配偶者、パートナーと一緒に来所することが増加し、面接や指導を受けることで母性保護の意識啓発につながっている。		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	(27)母性健康管理指導事項連絡カードの情報提供(目標:年1,300以上) 成果:1,594		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A	配偶者、パートナーがより、勤労女性の母性により添えるよう専門職の面接技術・方法をさらに磨く必要がある。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
	A	担当課の評価に同じ。	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	・今年度と同様		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	計画どおり実施されている。

改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問をする機会・回数を増やすことを検討されたい。 ・妊婦に説明するのと同時に、その者を雇用する事業主にもカードの存在・使用方法について周知する必要がある。 	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	38	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	農業における女性グループ活動の支援と女性起業の育成	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	農政課	施策の方向	Ⅱ-3(2)農業・商工業等自営業における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主査 平野 孝幸	内線番号	7613

P L A N (計画)	事業の概要		
	地元の農産物加工の研究・販売、直売所向けの商品開発や新規参入しようとする人への加工施設見学の受け入れ、起業の方法や運営の指導を行っている女性団体「麦の会」やJA長生との連携を図り、農産物加工を通じた女性の農業経営参画の促進を図る。		
	H24予算額	122	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	122	H25予算額
D O (実施)	H24年度の実施結果		
	第19回もばらふるさと塾 開催日:平成24年11月16日(金)9:00~15:00 参加者30人 第20回もばらふるさと塾 開催日:平成25年3月5日(火)9:00~15:00 参加者30人		
	数値目標とその成果 (28) 女性の農業起業家数 目標:5人以上 成果:0人		
C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	「もばらふるさと塾」を開催することにより、地元野菜や米粉を使った料理をPRすると共に、料理に携わってくれた「麦の会」との情報交換を通じ、農業への関心を深めて貰ったが、女性の農業起業家の増員までには至らなかった。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	担当課の評価に同じ。	
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	県やJA長生及び「麦の会」などと連携を図り、幅広い年齢層の市民に対して各種講演などを開催し、知識や情報提供の機会を図る。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	39	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	農業における家族経営協定締結の促進	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	農政課	施策の方向	Ⅱ-3(2)農業・商工業等自営業における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主査 平野 孝幸	内線番号	7613

P L A N (計画)	事業の概要		
	農業の経営形態で大半を占める家族経営において、経営と生活の境目が明確でなく、特に夫婦の場合、女性の役割や労働時間、労働報酬などの就業条件があいまいになりやすいことから、経営主だけでなく配偶者、後継者にとっても農業経営が魅力あるものとするため、家族全員が主体的に経営に参画し、意欲と能力を十分に発揮できる「家族経営協定」の締結を促進する。		
	H24予算額		H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
D O (実施)	H24年度の実施結果		
	家族経営協定の締結を推進する。		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	(29) 家族経営協定の新規締結数 目標:5件以上 成果:0人		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	家族内での責任の明確化により、締結者には好評であるが、慣習などから締結までには至らなかった。	
A C T (改善)	推進委員会による2次評価とその理由		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	担当課の評価に同じ。	
次年度における取り組み(予定)			
認定農業者の認定更新時に、家族経営協定の内容説明をすると共に、各種講演などの情報交換を行い、家族経営協定の締結を推進する。			

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	40	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	商工業の女性グループに対する支援、育成の促進	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅱ-3(2)農業・商工業等自営業における男女共同参画の促進
担当者職氏名	係長 深山和利	内線番号	7633

PLAN (計画)	事業の概要			
	茂原商工会議所に補助金を交付することにより、同商工会議所女性会の事業が円滑に実施できるように支援し、商工業等の自営業における男女共同参画の促進を図る。			
	H24予算額	6,277	H24予算額(再掲の場合)	
	H24決算見込額	6,277	H25予算額	6,277
	H24年度の具体的取り組み			
商工会議所女性会と連携し、同会が主催する視察、研修会、講習会等の開催に際し、新たな企画を計画するなど支援、育成を促進する。				

DO (実施)	H24年度の実施結果		
	・H24/4/25第26回女性会定時総会をプラザヘイアン茂原にて開催・5/11関東商工会議所女性会連合会総会に出席(宇都宮市4名)・5/22千葉県商工会議所女性会連合会総会に出席(ホテルグリーンタワー幕張11名)・9/12女性会会員親睦会(東京スカイツリー他 17名)・10/8介護実演会(県介護福祉士会主催)に参加(アスモ13名)・10/16千葉県商工会議所女性会連合会広域活動Cブロック事業を実施(環境、教育をテーマとした講演会及びノルディックウォーキング)(日本エアロビクスセンター19名)・11/29事業委員会活動(カラーコーディネート講演会)(商工会議所18名)・H25/1/23千葉県商工会議所女性会連合会新春講演会賀詞交歓会に参加(三井ガーデンホテル千葉5名)・1/30新年会(プラザヘイアン茂原)・2/22講演会を実施(商工会議所16名)		

CHECK (評価)	数値目標とその成果	
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	活発な活動が行われている。
推進委員会による2次評価とその理由		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	担当課の評価に同じ。	

ACT (改善)	次年度における取り組み(予定)
	今後も支援、育成の促進を図る。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	41	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	男女雇用機会均等法や育児・介護休業法など法制度の周知・啓発	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅱ-3(3)女性も男性も個性と能力を發揮できる環境の整備
担当者職氏名	補佐 麻生新太郎	内線番号	7633

P L A N (計 画)	事業の概要		
	仕事と育児・介護の両立に向けて、女性だけでなく男性に対しても育児・介護休業の取得を促進するため、広報もばら、茂原市ホームページなどさまざまなメディアを活用して法制度の周知・啓発を図る。		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
D O (実 施)	H24年度の具体的な取り組み		
	各種啓発用のパンフレットを公共施設に配布し、啓発に努める。またホームページ等で啓発を図る。		
C H E C K (評 価)	H24年度の実施結果		
	各種啓発用のパンフレットを公共施設に配布し、啓発を図った。		
	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
A C T (改 善)	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	企業等への実効ある働きかけは難しい。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
A C T (改 善)	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	企業の協力を得て啓発活動を行えないか検討する。	
	次年度における取り組み(予定)		
各種啓発用のパンフレットを公共施設に配布し、啓発に努める。また、ホームページ等で啓発を図る。			

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	42	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	県や関係機関による能力開発研修等の情報提供	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅱ-3(3)女性も男性も個性と能力を發揮できる環境の整備
担当者職氏名	補佐 麻生新太郎	内線番号	7633

P L A N (計画)	事業の概要		
	求職者の就労支援や労働者の能力開発のため、県や関係機関で実施されている講座やセミナーについての情報提供を行う。		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
H24年度の具体的取り組み			
県や関係機関で開催する講座やセミナーのパンフレットを各公共機関に配布し、周知を図る。			
D O (実施)	H24年度の実施結果		
	県や関係機関で開催する講座やセミナーのパンフレットを各公共機関に配布し、周知を図った。		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	実施されたセミナーについての結果については、把握していない。	
推進委員会による2次評価とその理由			
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	講座やセミナーの内容が男女共同参画というテーマに沿っているか確認する必要がある。		
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	県や関係機関で開催する講座やセミナーのパンフレットを各公共機関に配布し周知を図った。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	43	基本目標	Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画
事業名	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進	主要課題	Ⅱ-3 労働の場における男女平等の促進
課係名	企画政策課 国際化推進係	施策の方向	Ⅱ-3(3)女性も男性も個性と能力を發揮できる環境の整備
担当者職氏名	主事 宮脇 香織	内線番号	7412

P L A N (計画)	事業の概要	
	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について、講演会や講座のテーマに取り入れるるとともに、広報もばら、茂原市ホームページなどさまざまなメディアを活用するほか、九都県市首脳会議で推進する定時退庁・定時退社などの啓発活動を通じて意識啓発を図る。	
	H24予算額	0 H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0 H25予算額
D O (実施)	H24年度の具体的な取り組み	
	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について、広報もばら、茂原市ホームページなどさまざまなメディアを活用して意識啓発を図り、官民一体となつての推進に努める。	
C H E C K (評価)	H24年度の実施結果	
	昨年度開設した「ハートフルプラザもばら～茂原市インターネット男女共同参画センター」にて、「ワーク・ライフ・バランスとは」というコーナーを設け、情報提供に努めた。	
	数値目標とその成果	
A C T (改善)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	ホームページの内容の充実を図り、ワーク・ライフ・バランスの情報を掲載した。
	推進委員会による2次評価とその理由	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	担当課の評価に同じ。
次年度における取り組み(予定)		
引き続きホームページの内容の充実を図ると共に、ワーク・ライフ・バランスをテーマとした講演会・セミナーの開催などを検討していく。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	44	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	次世代育成支援対策地域行動計画の推進	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅲ-1(1)子育て支援の充実
担当者職氏名	主幹 板倉正樹	内線番号	6239

P L A N (計 画)	事業の概要		
	<p>子どもは次代を担う存在であることから、子どもが社会の一員として尊重され、社会全体で子育てを支援し、子どもを安心して産み育てられる環境づくりを進めるため、「次世代育成支援対策地域行動計画」で掲げる7つの基本目標に基づき、地域ぐるみで子どもたちの健全育成に取り組む事業を推進する。</p>		
	H24予算額	20	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	20	H25予算額
D O (実 施)	H24年度の実施結果		
	<p>「次世代育成支援対策地域行動計画」の対象とする150事業の進捗状況を調査し、その内容について地域協議会で協議後、主要25事業をホームページで公表した。</p>		
	数値目標とその成果		
C H E C K (評 価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	基本目標に沿って150項目の関連事業が実施されているが、1回の協議会の場で全ての内容を協議することは難しい。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	ホームページだけでなく、広報の掲載など広く発信すべきである。数値化する努力をする。	
A C T (改 善)	次年度における取り組み(予定)		
	<p>今後は、関連事業の実績を数値化するなど分かりやすくすることを検討する。</p>		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	45	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	子育て支援に関する情報提供	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅲ-1(1)子育て支援の充実

P L A N (計画)	事業の概要		
	育児に関する不安や、仕事と子育ての両立における問題を解消できるよう、新生児訪問や子育て家庭相談員による相談、また子育てハンドブックの配布とともに、茂原市ホームページを活用するなど、子育て支援に関する情報提供に努める。		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
H24年度の具体的取り組み			
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭相談員による相談の実施。 ・子育てハンドブックの配布を行う。 			
D O (実施)	H24年度の実施結果		
	子育て支援情報として、関連施策・制度、関係機関の紹介等を「子育てハンドブック」にまとめ各窓口で配布した。また、ホームページに掲載し、周知啓蒙を図った。		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	(30)「もばらで子育てハンドブック」の配布数 目標:15,000部以上(年3,000部以上) 成果:1,700部 (実際の配布対象としては年間約1,000部。年度途中にハンドブックの増刷もあるため配付数増有)		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A	保健センター事業及び図書館での事業等で配布、また、関係機関窓口等で配布しているが、配布部数の増加希望が増えた。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
A	子育てハンドブックが広く活用されているのは良いこと。		
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	今後も、子育て家庭への支援制度等に関する情報提供の充実に努める。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	子育てハンドブックは、広く活用されている。新生児訪問や子育て家庭相談員による対応も実施されている。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も子育て家庭への支援制度等の充実に努められたい。地域社会との連携(特に情報提供・支援)がさらに密となるよう図られたい。 ・ハンドブックについて、公立の保育所・幼稚園で行っているサービスについてより詳しく説明するなど、内容の改訂に努められたい。 	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	46	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	子育てに関する相談業務の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅲ-1(1)子育て支援の充実
担当者職氏名	主幹 板倉正樹	内線番号	6239

P L A N (計画)	事業の概要		
	子育ての不安や孤立感を解消できるよう、広報もばらや茂原市ホームページを活用して相談事業の周知を図るとともに、子育て支援課および保育所、幼稚園、保健センターなどの身近な施設において、乳幼児の健康に関する相談や育児・子育てに関する相談に対応する。 児童虐待などの専門的な内容や困難事例については、要保護児童対策地域協議会を構成する関係機関と連携を図りながら対応する。		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
D O (実施)	H24年度の具体的な取り組み		
	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員が2名から3名へと1名増員となった。 ・相談員の資質向上のため各種の研修や会議に積極的に参加する。 ・広報もばらやホームページを活用して相談事業の周知を図る。 ・子育て支援課及び保育所などの身近な施設において相談に対応する。 ・要保護児童対策地域協議会を構成する関係機関と連携を図る。 		
C H E C K (評価)	H24年度の実施結果		
	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の研修等への参加:6回 ・「広報もばら」15日号に毎月掲載するとともに、ホームページへの掲載を行った。 ・子育て支援課及び保育所などの身近な施設において相談に対応した。 ・要保護児童対策地域協議会を構成する児童相談所・青少年指導センター・保健センターなどの関係機関と連携を図った。 		
A C T (改善)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	相談内容が、多岐にわたり複雑化しているため関係機関等との更なる連携が必要。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	子育ての不安を取り除く対策が取られているので、引き続き実施することが望まれる。		
次年度における取り組み(予定)			
子育て家庭相談室に保健師を配置し、専門性の向上を図る。			

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	47	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	保育所の整備と多様な保育サービスの提供	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅲ-1(1)子育て支援の充実

P L A N (計画)	事業の概要			
	引き続き保育所の整備に努めるとともに、さまざまなニーズに対応し、子育てと仕事の両立を支援するための多様な保育サービスの充実に努める。 このうち時間外保育、産休明け保育については全12認可保育所で、一時保育については補助事業として2園でそれぞれ実施し、病後児保育については委託事業として1カ所で実施する。			
	H24予算額	19,516	H24予算額(再掲の場合)	
	H24決算見込額	19,516	H25予算額	19,516
	H24年度の具体的取り組み			
多様な保育サービスの充実に努める。時間外保育、産休明け保育は、全12認可保育所で実施し、一時保育は、補助事業として2私立保育園で実施する。病後児保育は、医療機関に委託事業として1カ所で実施する。				

D O (実施)	H24年度の実施結果		
	時間外保育・産休明け保育については、全保育所で実施した。一時保育については、補助事業として高師保育園・東茂原保育園で実施した。病後児保育については、医療機関に委託事業として1カ所で実施した。		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	(31) 時間外保育・産休明け保育 目標:12保育所 成果:12保育所 (32) 一時保育 目標:2カ所 成果:2カ所 (33) 病後児保育 目標:1カ所 成果:1カ所		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A	保護者の多様化するニーズに対応するよう子育てと仕事の両立を支援するための保育サービスの充実に努めた。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
A	現状できうるサービス充実に努めている。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	引続き、時間外保育、産休明け保育は、全12認可保育所で実施するとともに、一時保育は補助事業として2私立保育園で実施する。病後児保育についても、医療機関に委託事業として1カ所で実施する。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	4	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	時間外保育、産休明け保育、一時保育、病児保育、病後時保育等を実施し、成果が上がっている。
改善策等の提言	
今後は条件付(仕事を持つ保護者など)ではなく、保育サービスを必要としている全家庭の受け入れを検討してもらいたい。 また、成果の上がっているサービス以外の保護者ニーズについても対応してもらいたい。	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	48(子)	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	学童保育の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅲ-1(1)子育て支援の充実
担当者職氏名	係長 風戸 恵美子	内線番号	6232

P L A N (計画)	事業の概要			
	女性の社会進出や核家族化など家庭のあり方が大きく変化している中で、学童保育に対する需要が増大していることから、放課後児童の適切な遊びと生活の場の確保などに努め、その健全な育成を図る。今後は、教育委員会が主導する「放課後子どもプラン 運営委員会」の中で学区ごとの検証を行い、さらなる充実を図る。			
	H24予算額	43,892	H24予算額(再掲の場合)	
	H24決算見込額	42,270	H25予算額	43,682
	H24年度の具体的取り組み			
駅前学習プラザにある茂原学童クラブ室を茂原せんだん学童クラブとして茂原小学校敷地内に新築移転し、利便性の向上と安全性の確保を図る。				

D O (実施)	H24年度の実施結果		
	駅前学習プラザ内で実施していた茂原学童クラブは、安全性の問題や遊び場がないことから利用者の利便性や安全性を考慮し、茂原小学校敷地内に学童クラブ施設を新築し、名称をせんだん学童クラブとして開設した。		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	(34) 学童保育の開設場所 目標:18カ所 成果:19カ所 (35) 学童保育の児童数 目標:延べ2,470人 成果:481人		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	茂原学童クラブは、学習プラザ利用者からの苦情や茂原小学校からの通所の際の安全性の問題、災害等が発生した時の対応を心配する声があったことから、茂原小学校敷地内に移転し、開設できたことは評価できると考える。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	・仕事が不規則な親も多い中、良くニーズに答えている。 ・学習プラザから茂原小学校敷地内に移転したことで利便性・安全性の向上が図られた。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	全小学校区に学童クラブは設置されているので、通所者のさらなる増員を図る。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	48(生)	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	学童保育の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	生涯学習課	施策の方向	Ⅲ-1(1)子育て支援の充実
担当者職氏名	副主査 川崎 秀則	内線番号	7933

P L A N (計 画)	事業の概要			
	女性の社会進出や核家族化など家庭のあり方が大きく変化している中で、学童保育に対する需要が増大していることから、放課後児童の適切な遊びと生活の場の確保などに努め、その健全な育成を図る。今後は、教育委員会が主導する「放課後子どもプラン 運営委員会」の中で学区ごとの検証を行い、さらなる充実を図る。			
	H24予算額	131	H24予算額(再掲の場合)	
	H24決算見込額	109	H25予算額	88
	H24年度の具体的取り組み			
放課後子どもプラン運営委員会において、放課後や長期休業中(夏休み等)の子どもたちの安全・安心な居場所作りを目的に、放課後子ども教室推進事業(夏休み子ども教室)と放課後児童健全育成事業(学童クラブ)の両事業について協議する。その中で、学童クラブの現状や課題について検証し、学童保育のさらなる充実を図る。				

D O (実 施)	H24年度の実施結果		
	放課後子どもプラン運営委員会を年3回開催し、放課後子ども教室推進事業(夏休み子ども教室)と放課後児童健全育成事業(学童クラブ)の両事業の充実・連携について協議した。放課後子ども教室推進事業においては、夏休み子ども教室を3小学校(中の島・緑ヶ丘・豊田)で7日間実施した。放課後児童健全育成事業(学童クラブ)においては、入所状況や各クラブの抱える課題について協議した。 ・第1回 平成24年 6月11日(月) 14時～15時30分 市庁舎902会議室 14名出席(委員10名、事務局4名) ・第2回 平成24年10月12日(金) 14時～15時50分 市庁舎501会議室 11名出席(委員 8名、事務局3名) ・第3回 平成25年 3月11日(月) 14時～14時50分 市庁舎902会議室 13名出席(委員10名、事務局3名)		

C H E C K (評 価)	数値目標とその成果	
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	運営委員11名のうち3名が女性であり、主任児童委員、PTAの立場から放課後の児童の安全・安心な居場所づくりについて様々な意見をいただき、事業に反映することができた。
	推進委員会による2次評価とその理由	
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	男女の意見を取り入れて事業に反映させている。	

A	次年度における取り組み(予定)
---	-----------------

放課後子どもプラン運営委員会において、①夏休み子ども教室の実施・検証、次年度の計画について ②学童クラブの現状と課題について協議することにより、両事業のさらなる充実・連携を図る。

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	49	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	公立幼稚園における子育て支援の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	学校教育課	施策の方向	Ⅲ-1(1)子育て支援の充実

P L A N (計画)	事業の概要		
	<p>預かり保育の実施や幼保一元化を視野に入れた認定こども園の検討など、家庭のあり方が変化する中での子育てと仕事の両立を支援するため、保護者の立場に立った子育て支援の充実を図る。 また、就園前児童を対象とした「子育てふれあい広場」や3歳児を対象とした「まめっこクラブ」などを実施し、公立幼稚園における子育て支援機能の充実を図る。</p>		
	H24予算額	324	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	324	H25予算額
D O (実施)	H24年度の実施結果		
	<p>・「子育てふれあい広場」未収園児及び保護者を対象に親同士の交流の場や遊び場を提供 各園5～6回実施 ・「まめっこクラブ」20組の満3歳児及び保護者を対象に親同士の交流の場や遊び場を提供 五郷幼稚園16回実施 ・講演会、園の開放、相談事業を実施 ・預かり保育の実施</p>		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	預かり保育人数 目標:1日6人～17人 成果:1日平均18人		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A	多様化する保護者や地域のニーズに応えるため、各幼稚園において、子育て支援事業(子育てふれあい広場、預かり保育、子育て相談等)を実施し、地域における幼児教育センターとして開かれた幼稚園づくりを推進できた。	
A C T (改善)	推進委員会による2次評価とその理由		
	A	<p>・数値目標を達成している。 ・必要があるのは認めるが、数値目標よりも成果の人数が多く、保育士の負担にならないか。</p>	
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	<p>・今後も保護者や地域のニーズに応えるため、子育て支援事業(子育てふれあい広場、預かり保育、子育て相談)を実施し、地域の幼児教育センターとして開かれた幼稚園づくりを推進する。 ・こども子育て会議(審議会)において公立幼稚園の再編等の方針を決定する。</p>		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	4	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	子育てふれあい広場、まめっこクラブ、預かり保育など子育て支援事業を推進している。
改善策等の提言	
<p>・各幼稚園において、保護者・幼稚園関係者を対象に子どもの人権や男女平等をテーマとした講演等の実施を検討してもらいたい。 ・子育て支援事業の更なる充実を望む。(子育てふれあい広場の回数を増やす、まめっこクラブを全幼稚園で実施するなど。)</p>	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	50(図)	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	ブックスタートの充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	図書館	施策の方向	Ⅲ-1(1)子育て支援の充実
担当者職氏名	係長 木島悦代	内線番号	23-6151

P L A N (計画)	事業の概要			
	ブックスタート(赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくり心をふれあうひとときを持つきっかけを作ることを目的として、読み聞かせを行いながら絵本を開く楽しい体験と一緒にあたたかなメッセージを伝え、絵本を手渡すとともに、保護者へ地域の子育て支援のさまざまな情報を提供する事業)について、保健センターでの10ヶ月児乳児相談の際に主任児童委員と市民ボランティアの協力を得ながら、その充実に努める。			
	H24予算額	1,024	H24予算額(再掲の場合)	
	H24決算見込額	998	H25予算額	824
	H24年度の具体的取り組み			
毎月1回保健センターで実施される10ヶ月児乳児相談の際に実施する。併せて、未受診者については図書館に来館してもらうか、主任児童委員の家庭訪問により手渡し率の向上を図る。				

D O (実施)	H24年度の実施結果		
	10ヶ月児乳児相談4/26・5/25・6/28・7/26・8/23・9/27・10/25・11/29・12/20・1/24・2/28・3/21 図書館 5/31・6/29・7/18・10/2・10/29・11/4・12/21・2/2 主任児童委員6/8・8/7・10/2・12/6・1/4・2/11・3/12 保健センター6/28・7/11・9/24・12/20		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	参加者数 目標:年648名 成果H25.2末現在で552名(3月参加者見込計50名)		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	10ヶ月児乳児相談未受診者に対して、図書館に来館してもらったり主任児童委員の家庭訪問によって、参加者の増加や絵本等の手渡し率が向上している。また夫婦での参加者も増加している。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	乳児相談時に実施することで保護者に負担をかけず、関係各課で効率的に実施している。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	引き続き、子育て支援課・保健センター・図書館の3課協働により、手渡し率の向上を図っていく。また乳児相談の連絡の際に夫婦での参加をよびかけていく。尚、次年度については乳児相談の対象者が10ヶ月児から6ヶ月児に変更されることに伴い、ブックスタートの対象児も6ヶ月児に変更する。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	50(子)	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	ブックスタートの充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅲ-1(1)子育て支援の充実
担当者職氏名	主査 中澤浩子	内線番号	6233

P L A N (計画)	事業の概要	
	ブックスタート(赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくり心をふれあうひとときを持つきっかけを作ることを目的として、読み聞かせを行いながら絵本を開く楽しい体験と一緒にあたたかなメッセージを伝え、絵本を手渡すとともに、保護者へ地域の子育て支援のさまざまな情報を提供する事業)について、保健センターでの10か月乳児相談の際に主任児童委員と市民ボランティアの協力を得ながら、その充実に努める。	
	H24予算額	0 H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0 H25予算額
D O (実施)	H24年度の実施結果	
	保健センターでの10か月乳児相談時にブックスタートを実施した。乳児相談欠席者については、図書館に来館してもらえるよう働きかけ、来館しなかった場合は主任児童委員の家庭訪問により実施した。	
C H E C K (評価)	数値目標とその成果	
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	保護者と乳児に、絵本を手渡ししながら絵本を開く楽しい体験と共にあたたかなメッセージを伝え、併せて地域の子育て支援についても情報を提供した。
	推進委員会による2次評価とその理由	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	乳児相談時に実施することで保護者に負担をかけず、関係各課で効率的に実施している。
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)	
	保健センターでの6か月乳児相談時にブックスタートの実施を継続する。 ※平成25年6月より、10か月乳児相談が廃止となり代わりに6か月乳児相談を実施することになった。	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	50(健)	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	ブックスタートの充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅲ-1(1)子育て支援の充実
担当者職氏名	主査 小泉 智子	内線番号	0475-25-1725

P L A N (計画)	事業の概要			
	乳児相談で保護者とその児と面接し、一人ずつ絵本を配布しながら読み聞かせの方法を教える。また、家庭において両親と子どもがゆっくりふれあい、楽しい時を過ごすことが子どもの成長発達にとって何より大切であることを伝える。			
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)	0
	H24決算見込額	0	H25予算額	0
	H24年度の具体的取り組み			
主任児童委員とブックスタートボランティア、図書館職員により、乳児相談来所の親子に絵本の個別配布及び読み聞かせ、親子のふれあいの大切さについて個別指導を実施する。(毎月1回×12回)				

D O (実施)	H24年度の実施結果		
	延べ 570人		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	父親の参加が増えている。絵本をとおして親子が触れ合う機会の動機付けになっている。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	乳児相談時に実施することで保護者に負担をかけず、関係各課で効率的に実施している。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	10か月児乳児相談を6か月時に変更したため、前年度の10か月時対象児を6回、6か月児を10回計16回実施する。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	51	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	長寿クラブ等の自主活動への支援	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	高齢者支援課	施策の方向	Ⅲ-1(2)高齢者・障害者介護の充実
担当者職氏名	主事 沼 崇之	内線番号	6224

P L A N (計画)	事業の概要		
	各種スポーツや文化活動、社会奉仕、友愛活動などを通し、仲間づくりの中で、楽しく健康に過ごし、社会に貢献することを目的としている長寿クラブ等の自主活動に対し、支援を行い、地域に根ざした活動の活性化を図る。		
	H24予算額	1,270	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	1,134	H25予算額
D O (実施)	H24年度の具体的取り組み		
	平成24年4月1日現在の会員数は、男性より女性が1.5倍ほど多い状況であり、女性委員会の活動も年々活発になっている。 このような現状を踏まえ、前年度に引き続き会員の加入促進運動に力を入れるとともに、連合会としての活動や会員、クラブ間の交流を充実させ、男女問わず様々な意見を取り入れながら魅力あるクラブづくりに努める。		
C H E C K (評価)	H24年度の実施結果		
	長生地区老人クラブ女性委員会による長生地区輪投げ大会の開催、茂原市長寿クラブ女性委員会から芸能大会への参加など、女性が積極的に活動している。 活動内容を決定するために毎月開いている運営委員会についても、毎回各地区の女性委員に参加していただいております、企画立案の段階から活動に関わっている。		
A C T (改善)	数値目標とその成果		
	(38) 茂原市長寿クラブ連合会の会員数 目標:3,000人 成果:2,468人(4/1現在2,385人+中途加入11/30現在83人)		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	企画運営から行事への参加に至るまで、女性会員が積極的に活動している。	
A C T (改善)	推進委員会による2次評価とその理由		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	男女共に積極的に活動している。	
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	引き続き、女性会員の積極的な活動を支援していく。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	52	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	高齢者の総合相談窓口の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	高齢者支援課	施策の方向	Ⅲ-1(2)高齢者・障害者介護の充実
担当者職氏名	副主幹 渡辺 路子	内線番号	6244

P L A N (計画)	事業の概要		
	地域包括支援センターの保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員が中心となり、地域で暮らす高齢者を介護、福祉、健康、医療など、さまざまな面から総合的に支えていく。 昨年度まで実施していたランチ事業は、より地域に根差すことができたので、今後構築された事業所との連携システムにより相談体制の充実を図る。		
	H24予算額	9,571	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	9,564	H25予算額
D O (実施)	H24年度の実施結果		
	10月から南地域生活圏域に、「みなみ地域包括支援センター」を設置した。包括支援センターとして相談窓口と相談職員を増やすことができた。平成25年1月現在の総合相談件数は2,353件(内、みなみ包括支援センター179件)であり、高齢者虐待、権利擁護に関することや介護保険サービスに関することなど様々な相談に応じることができた。		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	包括支援センターを1か所増やすことができ、みなみ地域生活圏域に身近な相談窓口を設置できた。今後も相談窓口について周知し利便性を高めたい。	
A C T (改善)	推進委員会による2次評価とその理由		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	高齢化社会に向けてニーズが高まると考えられるので、引き続き事業の推進に努められたい。	
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	24年度は、2か所の相談窓口について周知し利便性を高め、連携しながら高齢者の様々な相談に早期に対応していきたい。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	53	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	認知症高齢者対策事業(認知症サポーター養成講座)	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	高齢者支援課	施策の方向	Ⅲ-1(2)高齢者・障害者介護の充実
担当者職氏名	副主幹 渡辺 路子	内線番号	6244

P L A N (計 画)	事業の概要		
	性別や年齢を問わず、認知症の方とその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるための支援者となる「認知症サポーター」の養成に努め、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを図る。		
	H24予算額	211	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	139	H25予算額
	206		
H24年度の具体的取り組み			
一般の他、若年層を対象に「認知症サポーター養成講座」を開き、認知症への理解を広める。受講し活動の主旨に賛同した方を「ほっとみまもり隊」に登録し「ほっとみまもり運動」が継続できるようフォローアップ研修を行う。			

D O (実 施)	H24年度の実施結果		
	(平成25年2月現在) 認知症サポーター養成講座 13回実施、350人受講 ほっとみまもり隊 170人登録、4団体登録 フォローアップ研修 1回実施、158人受講		

C H E C K (評 価)	数値目標とその成果		
	(39) 認知症サポーター養成講座受講者数 目標:延べ1,100人 成果:受講累計 714人(H23年度~24年度)		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	性別の偏りなく目標受講数に達することができた。 課題としては、幅広い年齢層に認知症の理解を広めたい。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	担当課の評価に同じ。		

A C T (改 善)	次年度における取り組み(予定)		
	性別や年齢を問わず、「認知症サポーター養成講座」の受講者や「ほっとみまもり隊」の登録者を増やし、認知症高齢者及びその家族への理解や声かけ活動を広めていきたい。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	54	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	障害者(児)の地域生活支援の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	障害福祉課	施策の方向	Ⅲ-1(2)高齢者・障害者介護の充実
担当者職氏名	岡田 公一	内線番号	6217

P L A N (計画)	事業の概要		
	障害者とその介護者のために、さまざまな助成事業をはじめとする障害福祉サービス、日中一時支援や移動支援などの地域生活支援事業を充実し、「介護は女性の役割」という社会通念を是正し、社会で支える介護の推進を図る。		
	H24予算額	86,352	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	98,898	H25予算額
	H24年度の具体的取り組み		
ホームヘルプサービス、短期入所、児童デイサービス、行動援護等、障害者自立支援法によるサービスの提供。			

D O (実施)	H24年度の実施結果		
	H24年4月からH25年1月までの延べ利用人数 1340人(ホームヘルプサービス、短期入所、児童デイサービス、放課後等デイサービス、行動援護、日中一時、移動支援)		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	障害福祉サービス、地域生活支援事業を実施し、社会で支える介護の推進を図った。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	担当課の評価に同じ。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	H24年度と同様に取り組む。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	55	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	障害者(児)の相談事業の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	障害福祉課	施策の方向	Ⅲ-1(2)高齢者・障害者介護の充実
担当者職氏名	岡田 公一	内線番号	6217

P L A N (計画)	事業の概要			
	障害福祉サービスの利用に必要な情報の提供や助言、支援を行うとともに、身体障害者相談員、知的障害者相談員および保健師などによる精神保健相談支援体制の充実を図る。			
	H24予算額	1,504	H24予算額(再掲の場合)	
	H24決算見込額	1,504	H25予算額	1,507
	H24年度の具体的取り組み			
障害者(児)の日常生活等相談、各種福祉サービスの提供。				

D O (実施)	H24年度の実施結果		
	H24年4月からH25年2月までの延べ相談件数 210回		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	障害者(児)を持つ家族等が抱えている問題を、本相談にて整理することで、介護サービス等の利用に結びつけ、社会で支える介護の推進を図った。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	担当課の評価に同じ。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	H24年度と同様に取り組む。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	56	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災計画の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	総務課	施策の方向	Ⅲ-1(3)防災・防犯における男女共同参画の促進
担当者職氏名	副主幹 飯尾克彦	内線番号	7444

PLAN (計画)	事業の概要			
	災害時の避難所における男女のニーズの違いを考慮し、女性にも配慮した取り組みを進めるとともに、男女共同参画の視点を取り入れた地域防災計画の充実を図り、地域防災力の向上に努める。			
	H24予算額	2,940	H24予算額(再掲の場合)	0
	H24決算見込額	0	H25予算額	1,260
	H24年度の具体的取り組み			
東日本大震災を踏まえ国、県などの大幅な防災計画の修正があることより、各機関との整合並びに修正の中で、男女共同参画の視点を取り入れた地域防災計画の見直し作業に取り組む。				

DO (実施)	H24年度の実施結果		
	地域防災計画を作成する防災会議の委員に女性2名を登用し、男女共同参画の推進を図る。また、9月補正により、地域防災計画改定業務委託事業(2,940千円)を実施し、現在計画改定の見直し重点項目に「女性の視点を取り入れた対策の推進」を位置付けるなど、男女共同参画を推進する計画づくりを実施しているが、事業については次年度に繰越し、平成25年度夏期を目途に改定作業を進めているところである。		

CHECK (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	防災会議への女性登用、及び地域防災計画における女性目線での対策などを取り込むなど、男女共同参画計画の対する事業の成果は概ね達成していると思える。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	担当課の評価に同じ。		

ACT (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	地域防災計画については、平成25年度夏期を目途に改定する予定である。よって、防災対策においても新たな計画のもと男女共同参画を推進する取り組み、施策を展開してまいりたい。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	57	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	自主防災組織の育成	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	総務課	施策の方向	Ⅲ-1(3)防災・防犯における男女共同参画の促進

P L A N (計 画)	事業の概要			
	平常時および災害発生時に住民自らが被害を防止・軽減するために、地域全体の安全を守る活動を行う自主防災組織について、既存の自治会単位での設立を推進する中で、男性だけでなく女性の参画も促し、育成を図る。			
	H24予算額	640	H24予算額(再掲の場合)	0
	H24決算見込額	640	H25予算額	480
	H24年度の具体的取り組み			
自主防災組織の育成並びに新規設立に伴う出前講座や研修などにおいて、男性だけでなく女性の参画を促し、組織の充実を図る。				

D O (実 施)	H24年度の実施結果		
	自主防災組織の育成に伴う講演会や出前講座などにおいて、組織における女性目線の必要性、災害時における女性の重要性を説明するなど、必須事項として説明したところである。また、新たな自主防災組織の設立促進も並行して推進し、平成24年度は現在まで6団体が新たに設立したところである。		

C H E C K (評 価)	数値目標とその成果		
	(40) 自主防災組織の新規設立 目標:15団体以上(年3団体以上) 成果:H24年度 6団体		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A	数値目標として掲げた年3団体以上の新規設立については達成しているところである。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
A	設立しても何もしていないということがない様にすべき。		

A C T (改 善)	次年度における取り組み(予定)		
	東日本大震災以降、地域において防災に対する意識は高い状況が続いている。このことから、引き続き自主防災組織の新規設立促進並びに、地域防災力の向上を図るための出前講座、説明会等の実施を行い、その中で防災対策における女性の視点の重要性を説明するなどして男女共同参画の推進を図る。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	自主防災組織の新規設立の目標数値をもう少し高く設定する必要がある。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座を利用して、女性の視点を取り入れた防災への取り組みの必要性について各自治会にPRしてもらいたい。 ・災害対策コーディネーターを出前講座の講師として活用してもらいたい。 	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	58	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	地域防犯体制の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	生活課	施策の方向	Ⅲ-1(3)防災・防犯における男女共同参画の促進
担当者職氏名	係長 渡部 智之	内線番号	7256

P L A N (計画)	事業の概要		
	住民自らが「自分たちの住む地域の安全は自分たちで守る」という強い連帯意識で実施している地域防犯活動について支援を行い、男女がともに担うことにより、地域防犯力の向上を図る。		
	H24予算額	2,619	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	2,610	H25予算額
D O (実施)	H24年度の実施結果		
	市内48の自主防犯団体が組織されており、その中で家族ぐるみでの活動や女性を中心とした団体による地域防犯活動が実施されている。		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	女性が被害者となりやすい犯罪も多いことから、女性の防犯意識向上や防犯活動への参加は、より一層重要な課題である。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
A C T (改善)	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	担当課の評価に同じ。	
	次年度における取り組み(予定)		
さらなる防犯意識の向上を図るとともに、地域防犯活動への支援を実施し参加促進を図る。			

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	59(生)	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	地域ぐるみで子どもを見守る「わん！だふるタイム」の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	生活課	施策の方向	Ⅲ-1(3)防災・防犯における男女共同参画の促進
担当者職氏名	係長 渡部 智之	内線番号	7256

P L A N (計 画)	事業の概要	
	健康増進のためのウォーキングや犬の散歩を子どもたちの登下校時間(午前8時ごろ・午後3時ごろ)に合わせて積極的に実施することにより、地域ぐるみで子どもを見守る「わん！だふるタイム」の充実を図る。	
	H24予算額	0 H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	H25予算額
D O (実 施)	H24年度の具体的な取り組み	
	男女がともに協力して地域ぐるみで子どもたちを見守るよう、「わん！だふるタイム」への参加を啓発する。	
C H E C K (評 価)	H24年度の実施結果	
	男女の区別なく、地域ぐるみで子どもたちの見守りを呼びかける取り組みとして「わん！だふるタイム」への参加促進を啓発した。	
	数値目標とその成果	
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
A C T (改 善)	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	「わん！だふるタイム」は、実施時間帯の都合により高齢者・主婦層の参加が中心であるため、より幅広い男女共同参画という視点からすると未達成な部分がある。
	推進委員会による2次評価とその理由	
A C T (改 善)	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	担当課の評価に同じ。
	次年度における取り組み(予定)	
「わん！だふるタイム」のより一層の周知徹底とともに、男女の区別なく参加促進を図る。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	59(学)	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	地域ぐるみで子どもを見守る「わん！だふるタイム」の充実	主要課題	Ⅲ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	学校教育課	施策の方向	Ⅲ-1(3)防災・防犯における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主幹 木島 明良	内線番号	7928

P L A N (計 画)	事業の概要		
	健康増進のためのウォーキングや犬の散歩を子どもたちの登下校時間(午前8時ごろ・午後3時ごろ)に合わせて積極的に実施することにより、地域ぐるみで子どもを見守る「わん！だふるタイム」の充実を図る。		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
H24年度の具体的取り組み			
毎週月・金の午後3時に防災無線により「わん！だふるタイム」への協力を呼びかける。広報等を通じて「わん！だふるタイム」を周知する。			
D O (実 施)	H24年度の実施結果		
	毎週月・金の午後3時に防災無線により「わん！だふるタイム」への協力を呼びかけ、多くの市民の方々の協力を得ることができた。また、広報等を通じて「わん！だふるタイム」の周知をしている。		
C H E C K (評 価)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	登下校時等に、子どもたちが被害者となる犯罪が後を絶たない現状において、人の目が犯罪防止に極めて有効であり、多くの市民の協力をいただき見守り活動を実施していることから、犯罪を未然に防止できていると考える。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	担当課の評価に同じ		
A C T (改 善)	次年度における取り組み(予定)		
	犯罪を未然に防止するため、今後も市民の協力を得ながら本運動を継続して実施することにより、安全・安心な街づくりの推進に努める。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	60	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	自らの健康を自ら管理する意識づくりについての啓発	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅲ-2(1)生涯を通じた健康支援
担当者職氏名	係長 鶴岡隆之	内線番号	7244

P L A N (計画)	事業の概要		
	疾病の早期発見を目的とした各種検(健)診の受診勧奨と健康相談、健康教育など疾病予防に向けた保健事業を推進する。		
	H24予算額	84,209	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	78,369	H25予算額
D O (実施)	H24年度の具体的な取り組み		
	<p>各種検(健)診について、ホームページや広報のほか、自治会の協力を得ながら「各種検診のお知らせ」を毎戸配布するなど周知に努める。</p> <p>また、地区組織(保健委員会・食生活改善協議会)委員に研修会を実施し、普及活動の協力を得ると共に検診会場に於いてのPR、市民健康講座、出前講座等、あらゆる保健事業にて健康についての意識啓発及び各種検(健)診の受診勧奨に取り組む。</p>		
C H E C K (評価)	H24年度の実施結果		
	<p>各種検(健)診について、ホームページや広報のほか、自治会の協力を得ながら「各種検診のお知らせ」を毎戸配布するなど周知に努めた。</p> <p>地区組織(保健委員会・食生活改善協議会)では、ちば県民保健予防財団医師による「乳がんに関する講演会」を実施し、また委員には各種検(健)診に関する説明を実施し、各種検(健)診普及啓発活動への協力をお願いした。</p> <p>検診会場に於いては各種検(健)診のPRを実施した。</p> <p>出前講座にて、各種検(健)診の意識啓発及び受診勧奨を実施した。</p>		
A C T (改善)	数値目標とその成果		
	(41)がん検診の受診率 目標:50%以上 成果:肺がん16.5%、胃がん11.5%、大腸がん18.9%、子宮がん26.4%、乳がん33%		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	様々な機会を通じて、各種検(健)診の意識啓発及び受診勧奨に努めているが、受診率は伸び悩んでいる。	
A C T (改善)	推進委員会による2次評価とその理由		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	担当課の評価に同じ。	
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	<p>各種検(健)診について、ホームページや広報のほか、自治会の協力を得ながら「各種検診のお知らせ」を毎戸配布するなど周知に努める。</p> <p>また、地区組織(保健委員会・食生活改善協議会)委員に研修会を実施し、普及活動の協力を得ると共に検診会場に於いてのPR、市民健康講座、出前講座等、あらゆる保健事業にて健康についての意識啓発及び各種検(健)診の受診勧奨に取り組む。</p>		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	61	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	人生の各段階に応じた健康教育・指導や健康相談の推進	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅲ-2(1)生涯を通じた健康支援
担当者職氏名	副主幹 金坂婦美子	内線番号	25-1725

P L A N (計 画)	事業の概要		
	心身の健康に関し、思春期、出産・育児期、中高年期、高齢期など生涯を通じた健康問題に対し健康相談、健康教育、家庭訪問などを行い、必要な指導及び助言を行う。		
	H24予算額	0	H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0	H25予算額
D O (実 施)	H24年度の具体的な取り組み		
	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診・各種相談・家庭訪問・教室等母子事業の機会を活用し、健康的な生活が送れるよう知識の普及を行う。 ・保健師による「何でも健康相談」、歯科衛生士・栄養士による相談や、健康教室や出前講座において生活習慣病予防に着目した正しい知識の普及や生活改善をはかる。 		
C H E C K (評 価)	H24年度の実施結果		
	母子保健については、マタニティー教室、新生児訪問、こんにちは赤ちゃん訪問、乳児相談、幼児健診等あらゆる事業を活用し、ライフステージにあった健康生活についての知識の普及に努めた。また、保健師による「何でも健康相談」、歯科衛生士・栄養士による相談や、健康教室や出前講座において、生活習慣病予防に着目した正しい知識の普及や生活改善をはかっていった。		
A C T (改 善)	数値目標とその成果		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	母子保健事業に関しては、マタニティー教室、新生児訪問、こんにちは赤ちゃん訪問、乳児相談等の問診などで、常に父親や家族の子育てへの協力状況について確認している。子育てへの協力があまり得られない家庭に対しては、母親の育児ストレス解消について支援が必要な場合もある。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	休日開催などで夫婦での参加率を上げる必要がある。	
	次年度における取り組み(予定)		
	マタニティー教室をママパパ教室と名称を変更し、また土曜日開催の日程を平日より多くし、夫婦での参加がしやすいよう工夫をする事で、夫婦が協力して子育てをしていく意識が育つよう支援をしていく。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	62(健)	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	精神保健相談および社会復帰の促進	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅲ-2(2)心と身体の健康づくり支援
担当者職氏名	副主幹 金坂婦美子	内線番号	25-1725

P L A N (計画)	事業の概要	
	保健師等による精神保健相談の充実を図り、社会復帰に向けての支援を促進する。	
	H24予算額	0 H24予算額(再掲の場合)
	H24決算見込額	0 H25予算額
D O (実施)	H24年度の具体的な取り組み	
	保健師による「何でも健康相談」や各種健診(相談)において精神的な支援が必要な方には、保健所や障害福祉課等を紹介したり、必要に応じ同行訪問等で継続的な支援を行う。	
	H24年度の実施結果	
C H E C K (評価)	窓口の来所相談において精神保健関係の相談は、10件程度、また電話相談では110件程度であるが、1件における相談時間が長いことが特徴である。	
	数値目標とその成果	
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	精神保健に関する相談年数は前年よりやや少なくなっているが、継続的な電話相談により、日常生活の精神的支えに役立っていると思われるケースがある。
	推進委員会による2次評価とその理由	
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	担当課の評価に同じ。	
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)	
精神保健に関する相談窓口は、障害福祉課や、長生健康福祉センターなど他の相談機関での対応が多いと思われるが、「なんでも健康相談や」他の事業参加者など、個別相談を実施する際には、精神的な悩みを抱えてる様子など察知できるように、意識を持って相談対応にあたる必要がある。		

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	62(障)	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	精神保健相談および社会復帰の促進	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	障害福祉課	施策の方向	Ⅲ-2(2)心と身体の健康づくり支援
担当者職氏名	岡田 公一	内線番号	6217

P L A N (計画)	事業の概要			
	保健師等による精神保健相談の充実を図り、社会復帰に向けての支援を促進する。			
	H24予算額	10,011	H24予算額(再掲の場合)	
	H24決算見込額	10,011	H25予算額	10,030
	H24年度の具体的取り組み			
長生地域生活支援センターと連携を図りながら電話及び窓口相談、家庭訪問等の精神保健相談を行う。				

D O (実施)	H24年度の実施結果	
	H24年4月からH25年2月までの延べ相談件数 2,570回	

C H E C K (評価)	数値目標とその成果	
		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	障害者(児)を持つ家族等が抱えている問題を、本相談にて整理することで、介護サービス等の利用に結びつけ、社会で支える介護の推進を図った。
推進委員会による2次評価とその理由		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	担当課の評価に同じ	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)	
	H24年度と同様に取り組む。	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	63	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	各種健康診査の充実	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅲ-2(2)心と身体の健康づくり支援
担当者職氏名	係長 鶴岡隆之	内線番号	7244

P L A N (計画)	事業の概要		
	健康に関する理解を深め、健康状態を維持するために、各種検(健)診など疾病予防に向けての保健事業を推進する。		
	H24予算額	H24予算額(再掲の場合)	84209
	H24決算見込額	78,369	H25予算額
D O (実施)	H24年度の具体的な取り組み		
	特定健康診査(血清クレアチニン検査の追加)、胸部エックス線検診、肺がん(喀痰)検診、胃がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診、乳がん検診、前立腺がん検診、骨粗しょう症予防検診、歯周疾患検診を実施する。		
C H E C K (評価)	H24年度の実施結果		
	特定健康診査、胸部エックス線検診、肺がん(喀痰)検診、胃がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診、乳がん検診、前立腺がん検診、骨粗しょう症予防検診、歯周疾患検診を実施した。		
	数値目標とその成果		
A C T (改善)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	様々な機会を通じて、各種検(健)診の意識啓発及び受診勧奨に努めているが、受診率は伸び悩んでいる。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	引き続き受診率の向上について努められたい。		
次年度における取り組み(予定)			
特定健康診査、胸部エックス線検診、肺がん(喀痰)検診、胃がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診、乳がん検診、前立腺がん検診、骨粗しょう症予防検診、歯周疾患検診を実施する。			

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	64	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	市民参加の健康づくりの推進	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅲ-2(2)心と身体の健康づくり支援
担当者職氏名	副主幹 金坂婦美子・主査 今井佐知	内線番号	25-1725

P L A N (計画)	事業の概要			
	<p>「自分の健康は自分で守る」という健康意識の向上と健康の保持・増進および予防活動を市民が自主的に進めることができるよう、市民参加の健康づくりの推進を図る。</p> <p>地区組織(保健委員会、食生活改善協議会)は委員相互の親睦を深め必要な知識を習得し、普及活動を積極的に実施する。また、生活習慣病予防のための運動や休養、心の健康づくり、バランスのとれた食生活など市民の健康ニーズへの対応に努め、研修会、講演会、健康・栄養教室を実施する。</p>			
	H24予算額	1,288	H24予算額(再掲の場合)	
	H24決算見込額	1,288	H25予算額	1,000
	H24年度の具体的取り組み			
<p>より多くの市民に参加していただけるよう、開催日時の選定にあたっては土日等の開催を検討することにより男性が参加しやすいように工夫をする。参加者の安全確保に留意し健康づくりをすすめていく。</p>				

D O (実施)	H24年度の実施結果	
	<p>改選1年目にあたり推進員の育成の年度であったため、教室の開催数が少なかった。</p>	

C H E C K (評価)	数値目標とその成果	
	<p>(42) 保健委員会の研修会等の参加人数 目標:延べ8,500人以上(年1,700人) 成果:947人 (43) 食生活改善協議会の研修会等の参加人数 目標:延べ15,000人以上(年3,000人) 成果:1651人</p>	
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	<p>B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)</p>	<p>募集を一般対象としているが、男性の参加が伸びていない。</p>
推進委員会による2次評価とその理由		
<p>B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)</p>	<p>推進員の育成に力を入れるとともに、男性も参加しやすいよう開催日、回数を増やしてみてはどうか。</p>	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)	
	<p>教室開催にあたり、参加者がさらに目標に近づくよう周知方法や内容を検討していく。</p>	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	65	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	健康教育の充実	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅲ-2(2)心と身体の健康づくり支援
担当者職氏名	副主幹 金坂婦美子	内線番号	25-1725

P L A N (計画)	事業の概要			
	<p>地区組織を通して各地区で運動・栄養等の健康教室を実施するとともに、高齢者に対しては、茂原市社会福祉協議会等と連携し、高齢者が集う場に赴いて介護予防・転倒予防等の講話を実施する。 また、各団体の要望に応じて開催される職員出前講座を活用し、健康に関する講話を実施するとともに、生活習慣改善の一助となるよう、特定健康診査後の結果説明会と事後指導を実施する。</p>			
	H24予算額	174	H24予算額(再掲の場合)	
	H24決算見込額	174	H25予算額	75
	H24年度の具体的取り組み			
<p>生活習慣病予防その他健康に関する正しい知識の普及啓発により健康の保持増進を図る。 男女を問わず、より多くの市民が参加できるように対象年齢にあった内容の検討や、広報やホームページの活用・ポスターの工夫をしたり、開催日時についても参加しやすいように選定する。</p>				

D O (実施)	H24年度の実施結果	
	<p>特定健康診査後の結果説明会(健診結果を学ぶ会や健康栄養相談)の参加者が昨年度より多くなっている。また、参加者の男性の参加も学ぶ会では20%、健康栄養相談では35%の割合で、参加が見られる。</p>	

C H E C K (評価)	数値目標とその成果	
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	<p>B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)</p>	<p>健診事後指導に関する事業への参加は、男性も多いが、地区組織主催の各地区健康教室では男性の割合が低い。</p>
推進委員会による2次評価とその理由		
<p>B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)</p>	<p>特定検診の受診率を上げる様に努められたい。</p>	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)	
	<p>地区組織主催の各地区健康教室では男性の割合が低いので、男性も参加してみたいテーマの設定や参加しやすい周知の方法の工夫を検討していく。</p>	

茂原市男女共同参画計画(第2次)に係る事業評価シート

事業No.	66	基本目標	Ⅲ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	スポーツを通じての健康増進の推進	主要課題	Ⅲ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	体育課	施策の方向	Ⅲ-2(2)心と身体の健康づくり支援
担当者職氏名	副主査 仁茂田 恵子	内線番号	23-2811

P L A N (計画)	事業の概要			
	生涯スポーツの観点に立ち、誰もが参加できるスポーツ・レクリエーションの普及に努める。また、市民がスポーツによる楽しさや爽快感と市民相互の連帯感の醸成などの精神的充足感を得ることができるよう、事業の充実に努める。 開催にあたっては、土日や夜間に開催するなど、男女がともに参画する機会の確保に努める。			
	H24予算額	2,147	H24予算額(再掲の場合)	
	H24決算見込額	1,988	H25予算額	2,122
	H24年度の具体的取り組み			
老若男女誰もが参加できるよう各種スポーツ教室やスポーツまつり、市民体育祭などを実施する。開催日時を平日の昼間に限らず、土日や夜間の開催を検討したり、「スポーツもばら」に情報を掲載したり、市内小中学校等に開催要項を配布することにより、幅広い年齢層の男女が参加できるよう努める。				

D O (実施)	H24年度の実施結果		
	①少年少女柔道教室土曜日20回386人②太極拳教室火曜日20回1,056人③ヨガ教室金曜日20回1,405人④整美体操教室木曜日20回689人⑤軽スポーツ教室土・日曜日14回334人⑥市民体育祭8/26~11/18 36回 24競技実施4,058人⑦ファミリースポーツまつり6/17(日)236人 ⑧スポーツレクリエーションまつり3/3(日)146人⑨スポーツもばら 年3回掲載		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		
	(44) スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数 目標:延べ598回 成果:132回 (45) スポーツ・レクリエーション教室等の参加者数 目標:延べ23,700人以上 成果:8,310人		
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	教室にあたっては、土日や夜間に開催するコースを設けることにより、市民誰もが参加する機会を確保することができた。参加者の高齢化が進み、男女比も偏りがちであるため、市民誰もが参加できるよう開催日や内容の充実、情報提供を図っていききたい。体育祭やスポーツまつりにあたっては、競技志向が強くなっているため、老若男女誰でもが気軽に参加できるよう、さまざまな団体と連携を図り、情報提供をしていききたい。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	参加者の幅を広げるため、保健センター(体育館隣)に託児所を設け、子育て世代も参加しやすいよう検討してみてもどうか。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	各種スポーツ教室を実施する。市民体育祭やファミリースポーツまつり、スポーツレクリエーションまつりを開催する。幅広い年齢層の男女に参加していただけるよう、さまざまな団体との連携を図り、情報提供していく。		